

新京成電鉄会社要覧

2023



SHIN-KEISEI HAND BOOK 2023

新京成電鉄株式会社

2023年10月発行 / 編集・発行：総務人事部 広報課
〒273-0192 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号
TEL 047-389-1110 FAX 047-389-1130
<https://www.shinkeisei.co.jp/>

新京成ブランド

シンボルマーク・コーポレートカラー

シンボルマーク「マーク名:Step Mark (ステップマーク)」は、カーブの多い路線の特徴から着想し、新京成のイニシャル「S」をデザインしました。ライン状につながり、右上に上がっていく形が、一步一步ステップし続ける姿勢を表しています。

コーポレートカラーは、メインカラーはシンボルマークの形や印象に合うよう、親しみやすくやさしく温かいイメージの「ジェントルピンク」、サブカラーは「ニューマルーン」としました。



gentle pink (ジェントルピンク)

new maroon (ニューマルーン)

ブランドスローガン

まいにち、ちょっと、新しい。

ブランドステートメント

ふつうの日々を過ごす、しあわせ。
ふつうの日々の中に、「ちょっと、新しい」がある、しあわせ。
そんなお客さまの気持ちに寄り添い、ニーズと向き合い、ひとつひとつを形にしていくこと。
それが、私たちにできる、お客さまサービスです。

基本は、あくまでも日々の安全と安心の提供。
そこに「ちょっと、新しい」を加えていくことで、より便利で快適な空間と時間が提供できる。
毎日ちょっとずつでも、季節を超え、歳月を重ねていけば、もっと大きな「新」になる。
それが、私たちの信念です。

しっかり前を向き、一步一步を大切に、走り続けるための合言葉。
お客さまの「まいにち、ちょっと、新しい。」暮らしを、
私たちの「まいにち、ちょっと、新しい。」はたらきで彩っていく。
それが、私たちからの約束です。

2014年6月制定

新京成電鉄公式キャラクター

「しんちゃん」は、1996年夏、創立50周年記念に実施したコンサートの開催案内に初登場しました。誕生は、八柱駅の中に巣作りしていたツバメがきっかけです。ツバメは、人間にとっての害虫を食物としており、穀物は食べないことから古来「益鳥」とされ、それを「駅長」と読み替え、「ツバメの駅長」として誕生しました。登場時には名前がありませんでしたが、公募で「しんちゃん」という愛称が付けられ、のちに「けいちゃん」というパートナーも加わりました。



しんちゃん と けいちゃん

トップメッセージ

持続可能な社会の実現と
地域の皆さまから愛される
新京成を目指して



代表取締役社長 眞下 幸人

新京成電鉄は、「地域社会への奉仕」「安全輸送完遂のための無事故」「愛社精神を中心とする総親和」という社訓のもと、千葉県北西部で運輸業・不動産業を中心に事業を展開しております。

1947年に新津田沼～薬園台間の2.5kmの路線で営業を開始して以来、事業を通して地域の発展に尽力し、沿線をはじめとする多くの皆さまの支えのもと、今日まで歩んでまいりました。

これもひとえに沿線にお住まいくださった皆さまをはじめとする多くの方々のご指導ご鞭撻のたまものと、感謝申し上げます。

足元では感染症対策と社会経済活動の両立が定着してきており、輸送人員は前年比で微増傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には

戻らないとみています。加えて、中長期的には沿線の少子高齢化や生産年齢人口の減少が進み、厳しい状況が予想されます。このような状況下、輸送の安全確保およびお客さまサービス改善に向けた投資を継続するため、2023年10月1日に運賃改定を実施しました。消費税率変更によるものを除くと28年ぶりの改定となります。

今後においても、当社を取り巻く事業環境は厳しくなっていくことが予想されますが、安全・安心を第一に、事業運営体制のさらなる強化に取り組んでまいります。

そしてこれまで以上に持続可能な社会の実現と地域の皆さまから愛される企業を目指し努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

新京成ブランド	1
トップメッセージ	2
CONTENTS	3

chapter1 会社概要

会社概況／役員	5
業務組織図	6
従業員構成／資本金の推移	7
会社業績	8
新京成 TOPICS	11
新京成の取り組み（ガバナンス）	13
新京成の取り組み（環境）	15
新京成の取り組み（社会）	17

chapter2 鉄道事業

2022年度鉄道事業の概況	25
所要時分表	30
営業キロ程および運賃表	31
安全対策	32
お客さまサービス・駅施設	45
お客さまサービス・車両	49
広告媒体	50
出改札システム	51
連続立体交差事業	53
線路の強化と保守	55
車両基地	56
車両	57
鉄道電力	59
電力設備と保守	60
鉄道事業資料	61

chapter3 不動産事業

不動産事業の概況	67
主な賃貸施設一覧	68
主な賃貸施設	69

chapter4 新京成グループ

バス事業	76
コンビニ業	85

chapter5 年表

年表	87
----	----

chapter 1 会社概要



社訓

1
地域社会への奉仕

2
安全輸送完遂のための
無事故

3
愛社精神を中心とする
総親和

※特に年度を明記していない統計資料は
2023年3月31日現在のものです。

会社概況

社名 新京成電鉄株式会社
 英訳名 Shin-Keisei Electric Railway Co.,Ltd.
 設立 1946年10月23日
 本社 〒273-0192 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号
 電話 047-389-1111 (代表)
 資本金 59億3,594万378円
 代表者 代表取締役社長 眞下 幸人
 事業内容 鉄道による一般運輸業・土地建物の売買及び賃貸事業
 営業キロ 26.5km
 車両数 156両
 駅数 24駅
 従業員数 475人
 グループ会社 3社

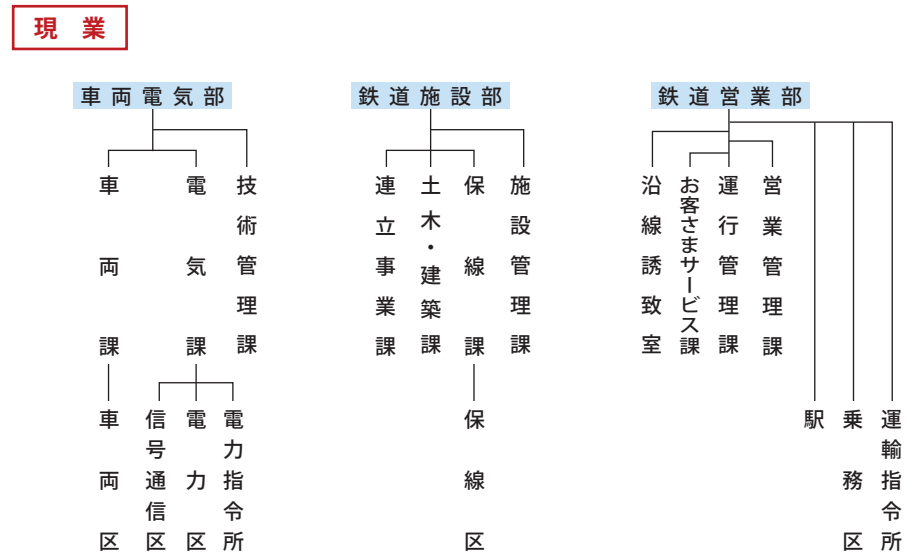
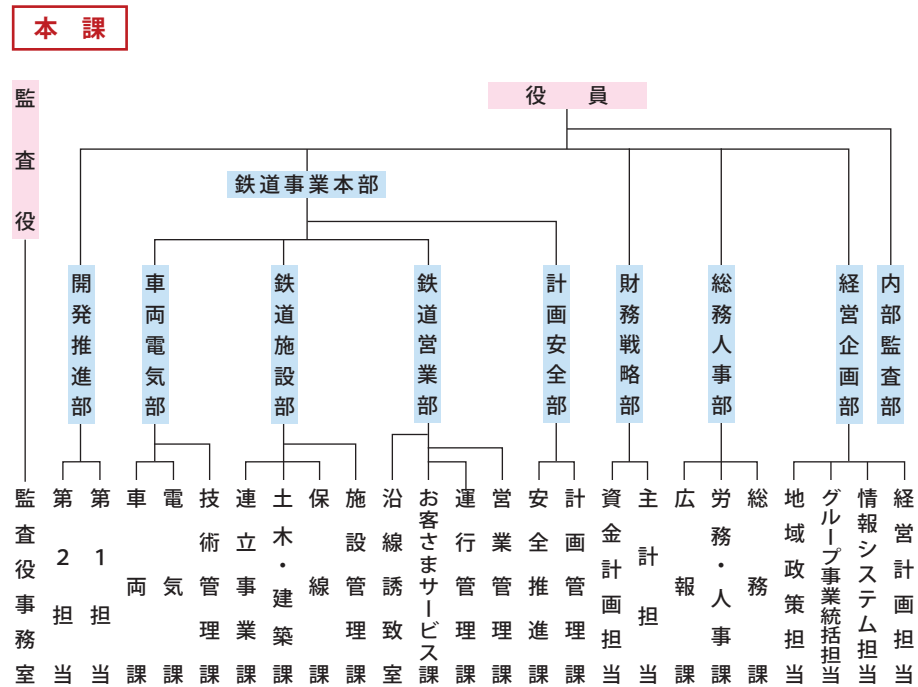


役員

代表取締役社長	眞下 幸人	2023年6月28日現在
専務取締役 (鉄道事業本部長)	田口 和己	
専務取締役 (財務戦略担当・開発推進担当)	長見 真治	
常務取締役 (内部監査部長・総務人事担当)	吉川 邦彦	
常務取締役 (経営企画担当)	河合 義一	
取締役 (鉄道事業本部鉄道施設部長)	多田 聡一	
取締役 (鉄道事業本部車両電気部長)	相原 栄	
取締役	小林 敏也	
取締役	天野 貴夫	
取締役	池田 等	
監査役	北田 良仁	
監査役	金子 庄吉	

業務組織図

2023年6月28日現在



目次
 会社概要
 新京成の取り組み
 鉄道事業
 不動産事業
 新京成グループ
 年表

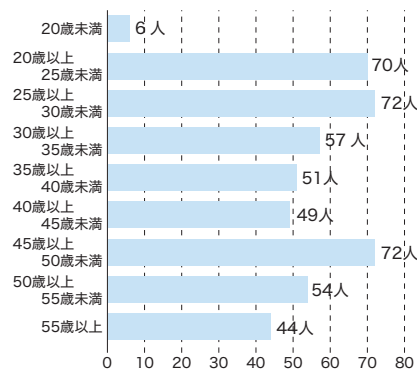
従業員構成

従業員概要

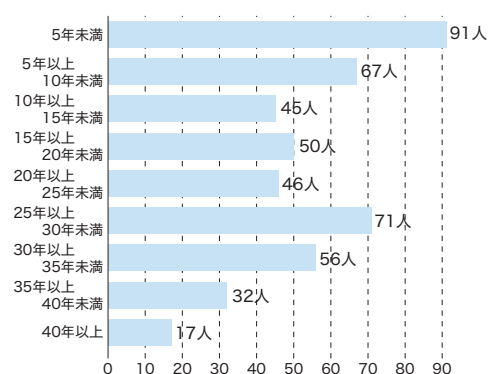
従業員数			
鉄道事業	不動産事業	一般管理	計
426人	10人	39人	475人

(注) 嘱託、出向、組合専従を除いています。

年齢別構成



勤続年数別構成



従業員の推移

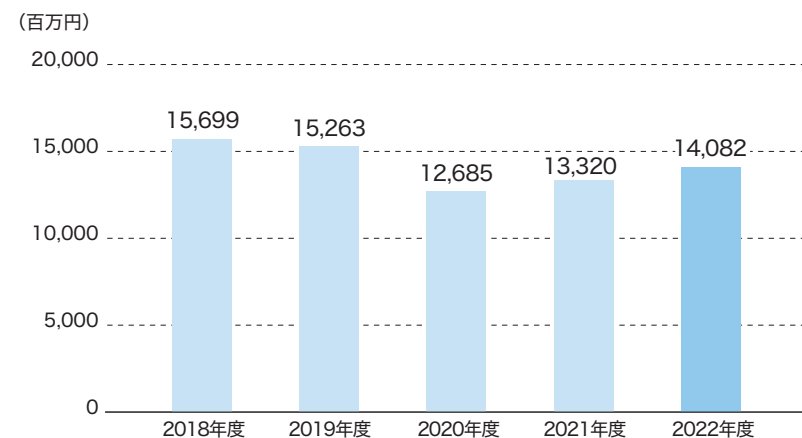
2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
460人	460人	465人	462人	464人	462人	471人	475人	477人	481人

資本金の推移

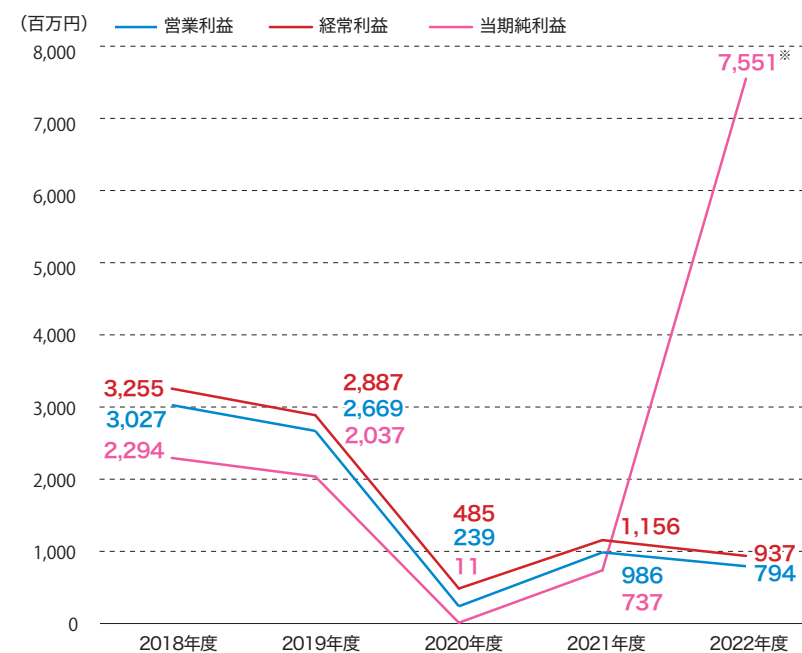
1946年10月	1,000万円	1982年6月	10億円
1948年10月	2,000万円	1984年5月	10億3,000万円
1953年5月	6,000万円	1985年5月	14億8,000万円
1955年7月	1億2,000万円	1987年5月	31億2,200万円
1972年4月	2億4,000万円	1990年5月	59億2,017万円
1974年3月	5億円	1990年12月	59億3,594万円
1977年4月	7億5,000万円		

会社業績

営業収益の推移

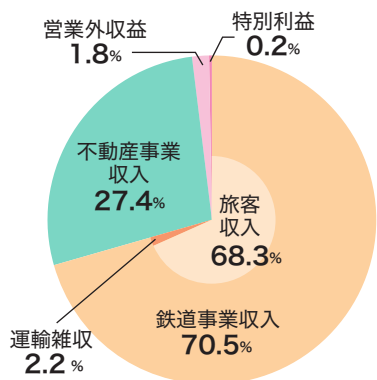


営業利益、経常利益、当期純利益の推移



* 関係会社株式売却益 6,838百万円を含んでおります。

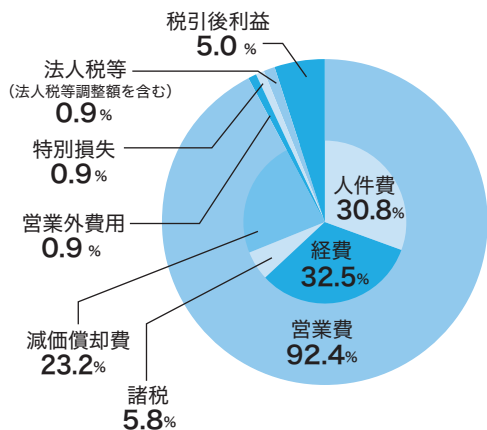
調整後総収入に対する事業別営業収入の比率（2022年度）



※ 総収入および特別利益から特殊要因 6,838 百万円を除き比率を算出しております。

調整後総収入
14,379 百万円

調整後総収入に対する経費比率（2022年度）



※ 総収入および税引後利益から特殊要因 6,838 百万円を除き比率を算出しております。

調整後総額
14,379 百万円

収入内訳

営業収入	14,082 百万円
鉄道事業	10,137 百万円
旅客収入	9,818 百万円
運輸雑収	318 百万円
不動産事業	3,945 百万円
営業外収益	265 百万円
※ 特別利益	6,870 百万円

総収入 21,218 百万円

※ 関係会社株式売却益 6,838 百万円を含んでおります。

経費内訳

営業費	13,287 百万円
人件費	4,434 百万円
経費	4,677 百万円
諸税	839 百万円
減価償却費	3,337 百万円
営業外費用	123 百万円
特別損失	128 百万円
法人税等 (法人税等調整額を含む)	127 百万円
税引後利益	7,551 百万円

貸借対照表（2023年3月31日現在）

資産の部		負債純資産の部	
科目	金額 (千円)	科目	金額 (千円)
資産の部		負債の部	
流動資産	12,096,940	流動負債	11,330,420
現金及び預金	4,917,429	短期借入金	3,125,400
未収運賃	835,756	未払金	2,692,283
未収金	51,391	未払費用	341,354
未収収益	33,625	未払消費税等	169,862
未収還付法人税等	1,050,412	預り連絡運賃	1,143,988
リース投資資産	779,262	預り金	1,535,926
分譲土地建物	610,000	前受運賃	626,124
貯蔵品	504,007	前受金	1,340,999
前払費用	71,051	前受収益	10,765
その他の流動資産	3,244,002	賞与引当金	340,714
固定資産	51,842,124	資産除去債務	3,002
鉄道事業固定資産	29,467,019	固定負債	9,748,651
不動産事業固定資産	17,032,557	長期借入金	4,690,100
各事業関連固定資産	604,983	退職給付引当金	2,703,286
建設仮勘定	2,311,081	資産除去債務	93,418
投資その他の資産	2,426,482	預り保証金	2,007,928
関係会社株式	291,875	その他の固定負債	253,917
投資有価証券	1,067,836	負債合計	21,079,071
長期前払費用	52,071		
前払年金費用	181,024	純資産の部	
繰越税金資産	801,069	株主資本	42,427,006
その他の投資等	32,605	資本金	5,935,940
		資本剰余金	4,773,405
		資本準備金	4,773,405
		利益剰余金	31,717,659
		利益準備金	523,210
		その他利益剰余金	31,194,449
		別途積立金	2,480,500
		買換資産圧縮積立金	5,000
		繰越利益剰余金	28,708,949
		評価・換算差額等	432,986
		その他有価証券評価差額金	432,986
		純資産合計	42,859,993
資産合計	63,939,064	負債純資産合計	63,939,064

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

1 新京成開業 75 周年とふなっしー地上降臨 10 周年を記念したコラボ企画を実施

2022 年 4 月から 2023 年 3 月まで船橋市のご当地キャラ「ふなっしー」とのコラボ企画を実施しました。4 月から運行を開始したふなっしートレインをはじめ、スタンプラリーの開催、記念乗車券の発売など計 15 個のイベントを開催しました。



2 松戸新田駅の建て替え工事が完了

2022 年 1 月から耐震性向上のため建て替え工事を実施していた松戸新田駅北口駅舎は、工事完了に伴い、2022 年 7 月 2 日の始発から新駅舎の供用を開始しました。



3 高根公園第 2 ビルがオープン

2021 年 10 月から老朽化による建て替え工事を実施していた高根公園第 2 ビルは、2022 年 9 月に竣工し、11 月 1 日から営業を開始しました。設計にあたっては、CO₂ 削減につながるなど環境面に配慮し木造を選択。木造建築では大きくなりやすい柱型・基礎型の出っ張る箇所を減らし、さまざまな業態のテナントに対応できる空間を目指しました。



4 全車両に防犯カメラを設置

列車内セキュリティ向上のため、2022 年 12 月から既存車両 23 編成への防犯カメラ取り付け作業を開始し、2023 年 3 月に全車両への防犯カメラの搭載が完了しました。



5 新京成線アプリをリニューアル

お客さまサービスの向上のため、新たに「到着予定時刻」「駅発車予定時刻」の表示機能を追加し約 3 年半ぶりにリニューアルを行いました。また今回のリニューアルでは、JR 東日本が提供する「リアルタイム経路検索サービス」へ当社線の運行情報の提供を開始しました。

平日常態 平常通り運転しています。

5:07 五香	6:06 元山	6:09 くぬぎ山	6:10 北初富	6:11 新鎌ヶ谷
---------	---------	-----------	----------	-----------

※駅名をタップすると下に発車予定時刻が表示されます。

くぬぎ山

松戸方面	京成津田沼方面
松戸 20:27	京成津田沼 20:33
松戸 20:34	京成津田沼 20:42
松戸 20:42	新津田沼 20:50

※5分※ 新京成電鉄のイベント情報はこちら！

※乗車しリアルタイム経路検索機能の駅発車時刻の運行状況を確認できます※

列車運行情報 各駅情報 Bus-Vision 新京成 ホームページ

6 特殊 IC 定期券導入（船橋新京成バス・松戸新京成バス）・金額式 IC 定期券導入（松戸新京成バス）

船橋新京成バスと松戸新京成バスでは、2023 年 3 月に IC カードによる高齢者向け特殊 IC 定期券「新京成プラチナパス」と学生向け特殊 IC 定期券「新京成 BUS 通楽」を各社で導入しました。特殊 IC 定期券は、購入したバス会社の一般路線バス全線（一部を除く）が乗り放題となるお得な定期券です。IC カードによるサービスとすることで、鉄道とバスの定期券を 1 枚の IC カードに取りまとめることや、紛失時の再発行が可能となりました。

同時に松戸新京成バスでは、指定した区間運賃の範囲内であれば一般路線バス全線（一部を除く）で利用可能となる金額式 IC 定期券を導入。この導入により、新京成グループバスの通勤・通学定期券が金額式 IC 定期券に統一されました。

ICカード になったよ!

1年定期 ¥60,000

半額(上限)定期 ¥33,000

半額(下限)定期 ¥33,000

詳しくは ホームページ をご覧ください。



お客さま・社会から信用される新京成を持続可能とするため、SDGsへの取り組みを推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



コンプライアンスへの取り組み

当社グループは、社会規範を遵守し、社会的責任を遂行するため、さまざまな取り組みを通じてコンプライアンス体制を強化し、適法かつ適正な事業活動を行っています。

まず、専門組織としてコンプライアンス小委員会を設置し、当社グループ全体のコンプライアンス体制強化のために活動しています。また、社内および社外に「コンプライアンス相談窓口」を設置し、内部通報者制度の充実を図っています。

このほか、社員の行動規準を定め、コンプライアンスの事例を解説したハンドブックを配布するなど、日々の事業活動における適法性および適正性について社員に意識させています。さらに、当社グループ全体および各職場単位でのコンプライアンス教育を定期的実施し、社員のコンプライアンス意識の醸成に努めています。

リスク管理

当社グループの事業継続に重大な影響を及ぼす可能性のあるさまざまなリスクを組織的に認識・評価するため、リスク管理小委員会を設置し、その影響を正確に把握した上で、事故対策を含む適切な対応を図る体制の確立を目指しています。

情報セキュリティの推進

お客さまやお取引先を含めた会社保有の情報資産を適切に取り扱い、保護管理に努めることが社会の期待と信頼に応える企業としての責務であると考えています。

そのため当社では、次に掲げる事項を情報セキュリティ基本方針として規定し、情報セキュリティの維持向上を図っています。

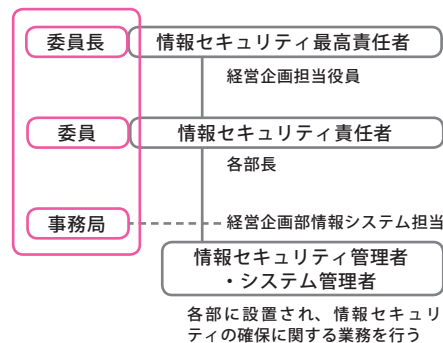
新京成電鉄情報セキュリティ基本方針

- 1 お客さまに対する安全かつ安定したサービスの提供
- 2 当社内外からの不正アクセス、盗難、改ざん、破壊、漏洩、及び紛失等からの情報資産の保護
- 3 社員等に対する継続的な情報セキュリティ教育・訓練の実施
- 4 本基本方針及びセキュリティ関連法規等に対する遵守状況の定期的な点検及び監査の実施
- 5 事業内容、社会的・技術的な変化、及び法令等の変化などを考慮した本方針の定期的な見直し・改善の実施

情報セキュリティ体制

情報セキュリティの確保に関する重要な事項について定期的に審議を行う機関として情報セキュリティ委員会を設置し、次のような情報セキュリティ体制を構築しています。

情報セキュリティ委員会



情報セキュリティ体制が機能するよう統括する部門として、経営企画部に情報システム担当が設置されており、全社的な情報ネットワークやセキュリティの案件を取り扱うほか、従業員向けの情報セキュリティ教育やシステム監査に関する業務なども行っています。

事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan)

災害などが発生して当社が甚大な被害を受けた場合、お客さまおよび従業員などの安全を最大限に重視しながら事業の継続、早期復旧に取り組むことを目的に事業継続計画 (BCP) を策定しています。

当社では、万が一停電していても対策本部などの本社機能の一部が3日間維持できる給電システムを構築し、2015年3月より運用しています。電力はソーラーパ

ネルと蓄電池で供給し、不足分は2台の電気自動車で補います。防災用品もグループ会社を含め約1,000人が3日間持ちこたえられるように備蓄しています。



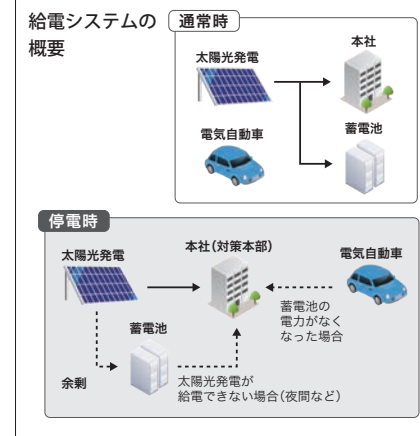
ソーラーパネル



電気自動車



防災倉庫





フルSiC適用VVVF インバータ制御装置の採用

2015年から主力車両である8800形のVVVFインバータ制御装置をフルSiC適用のタイプのものに更新する工事を進めています。絶縁耐圧性能向上による回生ブレーキ領域の拡大および高周波数変調による損失低減が可能となり、未更新車と比較して使用電力量が大幅に削減されました。また、2019年12月から導入している80000形にも採用しています。



連続立体交差事業

2002年から着手している新京成線(鎌ヶ谷大仏～くぬぎ山駅間)連続立体交差事業は2019年12月に全線高架化を迎えました。これにより12カ所の踏切が撤去され交通渋滞の解消につながりました。



照明のLED化

駅構内

長寿命化と消費電力削減によるCO₂の排出抑制のため、駅ホームやコンコース、階段やトイレにLED照明を導入しています。現在17駅でLED化工事が完了しています。



列車車内

長寿命化と消費電力削減のため、2015年度以降の新造車両および在来車両に対しても順次車内照明のLED化を実施しています。



バス車内

消費電力削減のためバス車内照明のLED化を進めています。



バスの新造車両への代替

環境性能に配慮した新造車両への代替を定期的に行っています。燃費の向上および排出ガスのクリーン化に貢献するクリーンディーゼルエンジンや、リサイクルしやすい材料を使用した部品などを導入しています。



バス車両にアイドリングストップ装置を搭載

エンジンの稼働を抑えることによる燃料消費の抑制や排出ガスの削減のため、高速バスを除く全ての車両にアイドリングストップ装置を搭載しています。



バス客席窓に熱線吸収型ガラスを導入

バス車内の温度上昇を抑制し冷房を効率的に使用するため、全車両のバス客席窓に熱線吸収型ガラスを導入しました。現在はさらなる効率性を追求して色付き窓ガラスを採用し、新造車両から順次導入しています。



農産物廃棄ロスの支援活動

地元企業と連携し廃棄される農産物を使用した加工品の開発や駅構内にあるセブン-イレブンで農園の商品を販売し販路を拡大させることで、廃棄処分となる農産物の削減に協力しています。



行動規準 (2016年1月1日改定)

私たちは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと社会の発展に貢献する企業を目指し、社会規範の遵守並びに企業の社会的責任を遂行するため、以下の行動規準により、適法かつ適正な事業活動を行います。

1. 社会との関係

- 地域・社会への貢献**
私たちは、事業活動等を通じて地域及び社会の一員として社会貢献活動に努めます。
- 反社会的勢力との関係断絶**
私たちは、反社会的勢力には毅然として対応し、これらの勢力の活動を助長するような行為は行いません。
- 環境保全・保護**
私たちは、環境保全・保護の重要性を認識して、環境への負荷低減に配慮し、自然との調和に努めます。
- 寄付行為・政治献金**
私たちは、違法な寄付行為や政治献金は行いません。

2. お客様との関係

- 安全性の優先**
私たちは、お客様へ良質な商品・サービスを提供し、その安全を何よりも優先します。
- お客様の立場に立った行動**
私たちは、お客様のご意見を耳を傾け、迅速かつ誠実に対応し、業務改善やサービスの向上に努めます。
- お客様情報の厳正な取扱**
私たちは、お客様の個人情報については業務目的及び法令等に定める用途のみに利用し、その他の用途には使用しません。

3. 株主・投資家との関係

- 経営情報の開示**
私たちは、当社の正しい評価を得るため、株主、投資家等に対して当社の経営情報を適時かつ適正に開示します。
- インサイダー取引の禁止**
私たちは、業務上知り得た当社やグループ会社又は取引先の内部情報を利用し、疑惑を招く株式等の売買を行いません。

4. 取引先等との関係

- 公正・公平な取引**
私たちは、法令及び社内規則等を遵守し、最適かつ公正・公平な取引を行います。
- 過剰な接待・贈答の禁止**
私たちは、過剰な接待・贈答は行わず、受けません。

5. 人権の尊重、良好な職場環境の確保

- 人権尊重と差別の禁止**
私たちは、一人ひとりの人権を尊重し、差別的言動等の人権侵害行為は行いません。
- ハラスメント行為等の禁止**
私たちは、セクシャルハラスメントやパワーハラスメント等、相手に不快感や不利益を与える行為、及び個人の尊厳を傷つける行為は行いません。
- プライバシーの保護**
私たちは、業務上知り得た個人情報については業務目的及び法令等に定める用途のみ利用し、その他の用途には使用しません。
- 安全・健康の確保**
私たちは、安全で衛生的な職場環境の整備に努めます。
- 良好な職場環境の形成**
私たちは、一人ひとりが働きがいを実感でき、風通しが良く活気に満ちた職場を作ります。

6. 会社財産等の保全

- 利益相反行為の禁止**
私たちは、自己や第三者の利益のために、会社の利益に反する行為は行いません。
- 重要情報の管理**
私たちは、当社又は他社の重要情報(業務上知り得たマイナンバー及び個人情報等)については外部に漏洩がないよう厳重に管理します。
- 会社資産の適切な使用**
私たちは、資産(知的財産権を含む)の毀損、盗難、不正使用を防ぐとともに、個人的な目的で会社の資産、経費を使用しません。
- 社内情報システムの管理**
私たちは、情報システムの使用に際し、社内規則等に基づく適正な運営、管理を行います。

以上

人材育成

2023年度社員教育計画について

2023年度の社員教育計画については、会社組織の根幹をなす「人材」の育成に努めることを主な目的とします。階層別の研修については、管理者層、監督者層、中堅社員層、新入社員に分けて実施します。

また、研修フォロー体制については、実施された研修が確実な業務成果に結びつくよう、研修後に自己の課題を設定し、設定された課題については、後日、実行度合いを確認することとしています。

階層	階層別研修		専門研修		
	本社部門	現業部門	全社実施	部門実施	
役員	新任役員研修				
部長	新任部長研修				
課長	課長研修(課長5年目)			運輸安全マネジメント制度研修	
	評定研修 新任課長研修				
課長補佐・現業長	課長補佐研修(補佐4年目)			現業長研修	
	評定研修				
一般社員	管理職研修		情報セキュリティ研修・システム管理研修	B/MK研修	
	管理職候補研修	職場リーダー研修B(駅助役)			コンプライアンス研修
	職場リーダー研修A(入社15年目)	評定研修(助役)			
					異常時総合訓練
	中堅社員研修(入社5年目)	職場リーダー研修B(副班長)	テロ対応訓練	駅旅客サービス向上研修	
		後輩指導研修(入社7年目)	安全・衛生教育		
	新入社員フォローアップ研修(入社1年目・2年目・3年目)				運転士教育・運転士サービス研修
	新入社員研修			動力車操縦者養成研修	
				車掌研修・車掌サービス研修	
				駅務主任・駅務掛安全研修	
				業務知識研修	

CS

グループ全ての従業員が全ての職種において、より快適にご利用いただけるサービスをお客さまに提供することを目的にCSの向上に取り組んでいます。これは、京成グループで取り組むBMK推進運動とも合致することから、積極的に多様な活動に参加・実施することでレベルアップを図っています。また、当社に届くお客さまからのご要望についても貴重なご意見として、可能な範囲で対応し、改善を図っています。

BMK(ベストマナー向上)推進運動の実施

BMK推進運動は、お客さまから常に信頼され、選ばれる企業グループとなることを目指し、京成グループ一丸となって取り組んでいる接客サービスを中心とするCS向上活動です。各職場が自分の部署では何ができるのかを考えて実行計画を立て、接客の最前線から技術部門の線路上の清掃活動に至るまで、さまざまな取り組みを実施しています。

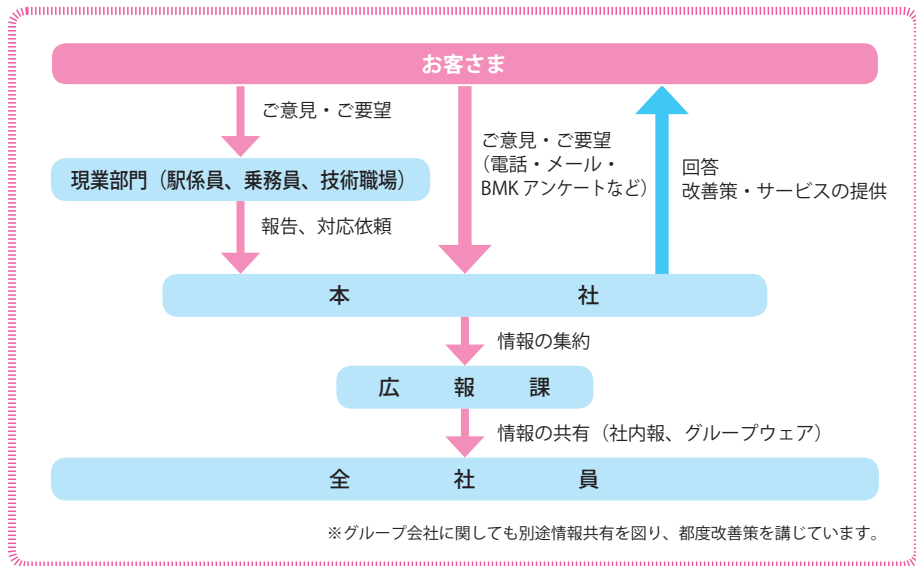


駅係員が接客サービス向上のための研修を受講



電力区による清掃活動

▼「お客さまからの声」集約・対応イメージ



職業講演会への協力

沿線の学校でのキャリア教育に積極的に協力しています。学校での講演を通じて、子どもたちの働くことへの関心を高めること、鉄道会社の仕事について理解を深めることを目的として実施しています。



県内の小学校での講演の様子



県内の中学校での講演の様子



県内の高等学校での講演の様子

ロケーションサービス

映像制作会社に、鉄道施設という特殊なロケーションをより効果的に利用いただくためのサービスを有料で提供しています。CMやMVなどの撮影に当社施設を貸し出すことで、収益のみならず、当社の知名度アップやブランド価値の向上を目的としています。料金表や規約などを定めたことで対応できる範囲や条件が明確になり、よりスムーズに、そしてより安全に対応できる体制を整えています。



駅ホームを利用したCM撮影



車両工場を利用したMVの撮影



コミュニケーション

1 おでかけ情報誌『CiaO (チャオ)』

沿線および周辺地域の魅力を紹介する CiaO は、お客さまとのふれあいを目的として 1992 年に創刊しました。現在年間 6 回各 40,000 部発行しています。手に取りやすく、見やすい情報誌を目指し、当社ブランドのさらなる強化を図っています。



2 新京成電鉄公式サイト (<https://www.shinkeisei.co.jp/>)



公式サイトは、当社の情報をよりスピーディーに、より広範囲のお客さまに提供することを目的として、1999 年に開設しました。鉄道運行情報やお知らせをはじめ、鉄道・バスのご利用案内などを掲載しています。



3 公式ブログ CiaOCiaO (チャオチャオ) (<https://ciao2.shinkeisei.co.jp/>)

新京成電鉄公式ブログ CiaOCiaO は、沿線の飲食店や雑貨店、イベントなどのおでかけスポットをブログ調で紹介しています。電車やバスを利用しておでかけしていただくことを目的に、2009 年に開設し、2015 年にリニューアルしました。



4 Web サイト「ぶらっと新京成」 (<https://plt-shinkeisei.jp/>)

「ぶらっと新京成」は新京成が開催するイベント情報やおでかけスポット、沿線のお店などを紹介する Web サイトです。お客さまに沿線の魅力をより知ってもらうことを目的として、2019 年 12 月に開設しました。



5 しんけいせいキッズ (<https://kids.shinkeisei.co.jp/>)

しんけいせいキッズは、お子さまの好奇心や創造性、ルール・マナーを大切に育てるとともに、新京成に愛着を持っていただくことを目的に 2018 年 11 月に開設しました。ちがいがさやしやマナー学習ゲーム、ぬりえなどを楽しめます。



しんけいせいキッズ
キャラクター
うさのしん かめのしん

6 新京成ライフナビ (<https://www.shinkeisei.co.jp/navi/>)



当社線沿線外にお住まいの方にも「新京成エリア」に興味を持っていただくため、2022 年 3 月に沿線での暮らしをご紹介するライフサイトのデザインを一新するとともに、タイトルを「新京成ライフナビ」に変更しました。

7 新京成電鉄公式 X (旧 Twitter) ([@shinkeisei_info](https://twitter.com/shinkeisei_info))



新京成からのちょっとしたお知らせや沿線の小ネタなど、さまざまな情報をお客さまにタイムリーにお届けするため、2017 年 12 月から公式 X を運用しています。現在フォロワー数は 20,000 人を突破しました。

8 新京成電鉄公式 Instagram ([@shinkeisei_railway](https://www.instagram.com/shinkeisei_railway))



沿線のグルメやスポット情報、美しい景色など新京成沿線での暮らしの魅力をより視覚的にアピールするため、2022 年 3 月に公式 Instagram を開設しました。

9 新京成電鉄 YouTube 公式チャンネル (<https://www.youtube.com/c/shinkeiseiofficial/>)



電車の前面展望や開催しているイベントなどの新京成の魅力を、文章や写真とは異なる視点から発信するため 2017 年 8 月に YouTube 公式チャンネルを開設しました。



イベント

春



〈催し物〉

- 新京成カップ (少年サッカー大会)
- 自衛隊桜並木ライトアップ
- ハイキング (3月～6月ごろに2回程度実施)

秋



〈催し物〉

- ラーメンスタンプラリー
- 新京成サンクスフェスタ

〈沿線観光・イベント列車他〉

- ジェットトレイン運行 (秋～春)

夏



〈催し物〉

- 夏休みスタンプラリー

〈沿線観光・イベント列車他〉

- もも狩り (6月～8月中旬)
- ブルーベリー狩り (6月～9月初旬)
- ぶどう狩り・なし狩り (8月～10月)

冬



〈催し物〉

- 聖徳大学クリスマスチャリティコンサート
- ハイキング (11月～1月ごろに2回程度実施)

〈沿線観光・イベント列車他〉

- いちご狩り (1月～5月)
- 新京成ドリームトレイン運行 (11月～1月ごろ)

※実施するイベントは年により異なります。



chapter 2

鉄道事業



当社は、千葉県北西部一帯の開発に供する目的で、国から戦前の旧陸軍鉄道連隊演習線跡地の払い下げを受け、資本金1,000万円の会社として発足、1947年12月に新津田沼～薬園台駅間2.5キロの鉄道営業を開始し、1955年4月に松戸～京成津田沼駅間が全線開通しました。

当初は京成電鉄からの譲り受け車両で営業していましたが、1971年以降は自社のオリジナル車両を導入しました。また、1986年には当時の最新鋭技術を結集した初のVVVFインバータ制御装置搭載の8800形を導入し、大幅な省力化を図りました。併せて、軌道や電車線設備など地上設備も、コンクリート枕木化、重軌条化、重架線化、変電所の更新、電力指令業務の自動化などを進めてインフラの信頼性を高め、1996年には現在の最高速度85km/hにスピードアップを図りました。

2006年には京成電鉄千葉線への乗り入れを開始し、松戸～千葉中央駅間の直通運転を実現しました。2019年には新京成線(鎌ヶ谷大仏～くぬぎ山駅間)連続立体交差事業が工事着工から約20年を経て全線高架化を迎えました。

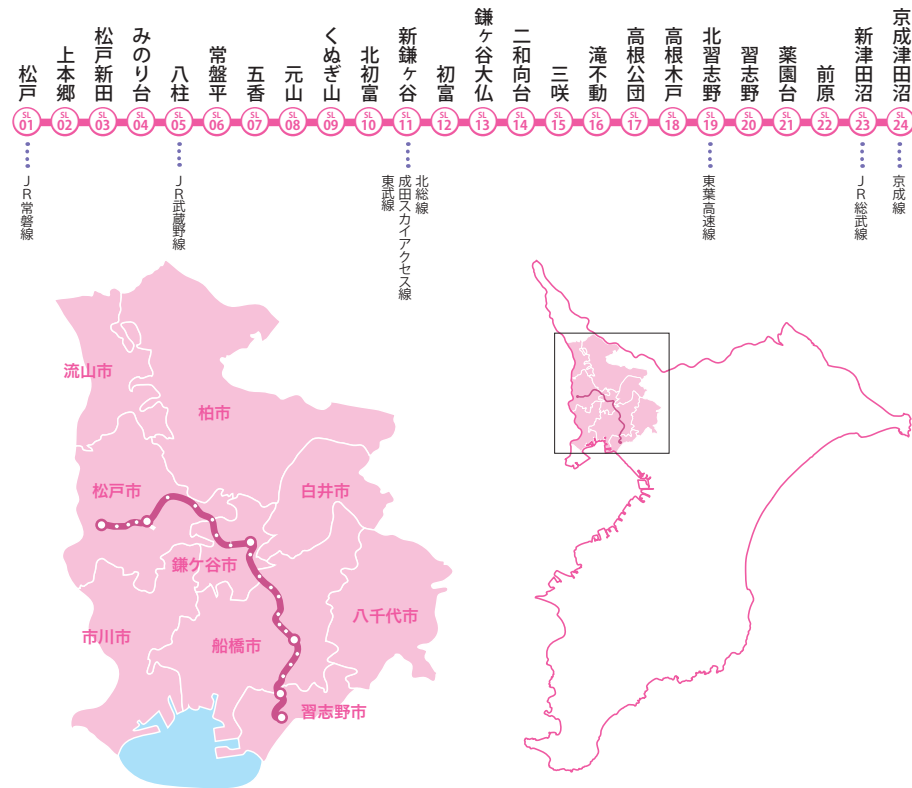
2022年度鉄道事業の概況

鉄道事業では安全輸送確保の取り組みとして、松戸新田駅北口駅舎建替工事、列車無線のデジタル化工事、北習志野駅通勤駅化工事、デジタルATS工事、車内防犯カメラ新設工事をそれぞれ実施しました。また、諸施設のバリアフリー化として滝不動駅および上本郷駅のホーム内方線設置工事およびホーム嵩上げ工事を進めたほか、お客さまサービス向上策として80000形車両1編成を導入しました。

環境負荷の低減に向けた取り組みにつきましては、高根変電所～五香変電所間のき電線

上下一括化を実施するとともに、前原駅、北習志野駅ホーム、高根公園駅、元山駅の各駅照明、ならびに8800形車両1編成の車内照明を、それぞれLED化しました。

営業面につきましては、当社開業75周年とふなっしー地上降臨10周年を記念した、ふなっしーとの各種コラボレーション企画を実施したほか、新京成ドリームトレイン2022の運行や各種記念乗車券を発売するなど、旅客誘致と増収に努めました。



営業キロ：26.5km 車両数：156両 駅数：24駅

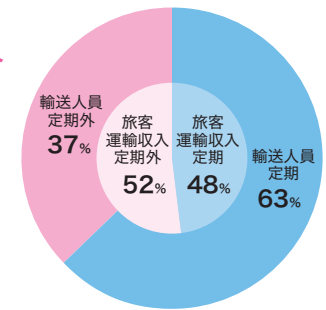
2022年度1日平均、1人平均乗車キロおよび旅客運賃

2022年度運輸成績

旅客営業キロ	26.5キロ	
輸送人員	定期旅客	58,373千人
	定期外旅客	33,737千人
	総旅客	92,110千人
輸送人キロ	定期旅客	441,466千人キロ
	定期外旅客	215,179千人キロ
	総旅客	656,645千人キロ
旅客運輸収入	9,818,848千円	
運輸雑収	318,159千円	

乗車効率(終日)	33.6%	
1日平均	客車走行キロ	40,613キロ
	輸送人員	252千人
	旅客運輸収入	26,901千円
1人平均乗車キロ	定期旅客	7.56キロ
	定期外旅客	6.38キロ
	総旅客	7.13キロ
1人平均旅客運賃	定期旅客	79.85円
	定期外旅客	152.88円
	総旅客	106.60円

定期旅客と定期外旅客の割合



旅客運賃表

(単位：円) 2023年10月1日改定

営業キロ程 (単位：キロ)	普通 ^{※2} 旅客運賃 (対キロ区間制)		定期旅客運賃 ^{※3}					
	ICカード	きっぷ	通勤定期			通学定期		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
1～5	167	170	6,240	17,790	33,700	3,290	9,380	17,770
6～9	188	190	7,070	20,150	38,180	3,760	10,720	20,310
10～13	209	210	7,810	22,260	42,180	4,160	11,860	22,470
14～17	230	230	8,560	24,400	46,230	4,560	13,000	24,630
18～22	252	260	9,670	27,560	52,220	5,150	14,680	27,810
23～27	272	280	10,420	29,700	56,270	5,550	15,820	29,970

入場料金 170円 (大人・小児同額)
^{※1} 1キロ未満は1キロ単位に切り上げ
^{※2} 小児旅客運賃:1円単位の小児の普通旅客運賃は1円単位の大人の普通旅客運賃の半額です。1円未満の端数は切り捨てます。10円単位の小児の普通旅客運賃は10円単位の大人の普通旅客運賃の半額です。10円未満の端数は10円単位に切り上げます。
^{※3} 小児は半額 (10円未満は10円単位に切り上げ)

開 会社概要
 新 新京成の取り組み
 自 鉄道事業
 不 不動産事業
 新 新京成グループ
 年 年表

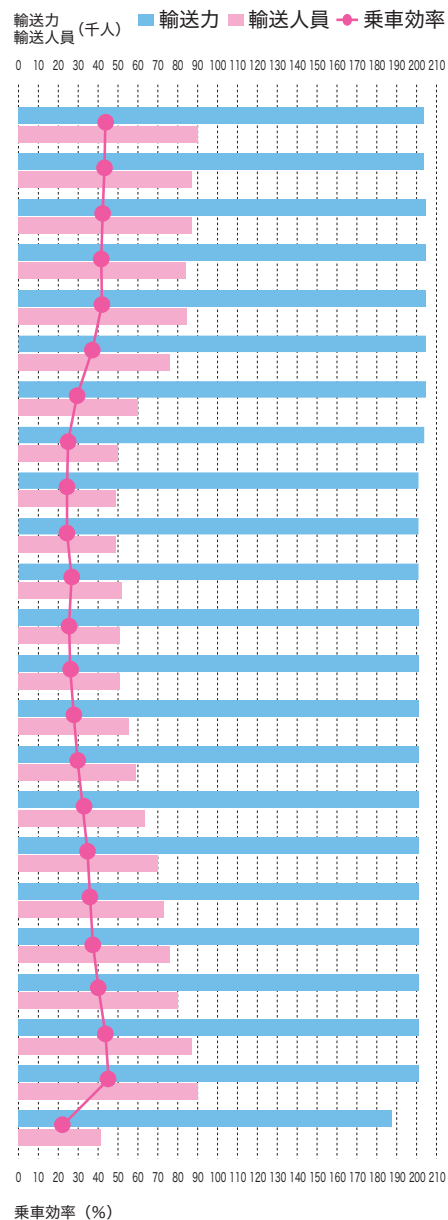
2022年度鉄道事業の概況

駅別乗降人員数

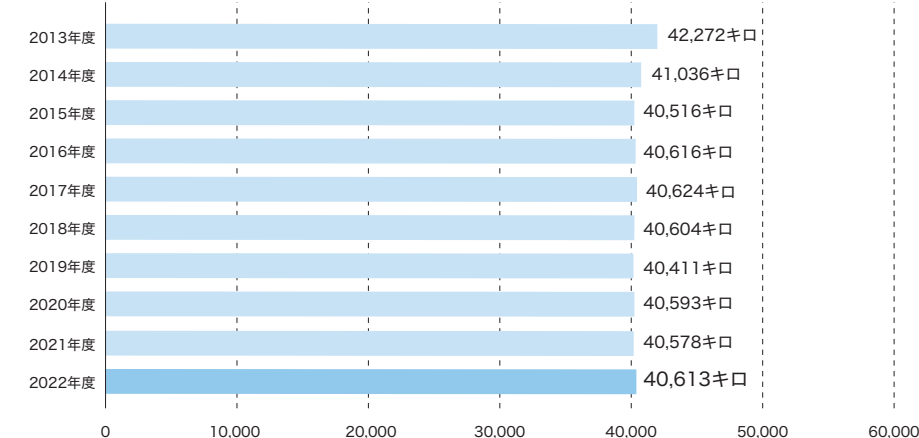
(1日平均)

駅名	2022年度		2021年度	
	乗降人員数(人)	順位	乗降人員数(人)	順位
松戸	89,715	1	82,080	1
上本郷	6,602	22	6,128	21
松戸新田	6,737	20	6,043	22
みのり台	8,568	17	7,957	17
八柱	39,437	5	36,499	5
常盤平	16,787	8	15,409	8
五香	25,976	7	23,948	7
元山	14,881	10	13,983	10
くぬぎ山	6,629	21	6,252	20
北初富	5,015	23	4,631	23
新鎌ヶ谷	34,234	6	30,970	6
初富	4,902	24	4,567	24
鎌ヶ谷大仏	13,127	13	12,120	13
二和向台	15,497	9	14,268	9
三咲	12,998	14	12,020	14
滝不動	7,043	19	6,308	19
高根公団	13,750	11	12,887	11
高根木戸	7,832	18	7,211	18
北習志野	40,551	4	36,548	4
習志野	11,996	15	11,344	15
薬園台	13,748	12	12,854	12
前原	9,360	16	8,613	16
新津田沼	58,399	2	54,218	2
京成津田沼	40,928	3	38,162	3
合計	504,712	—	465,020	—

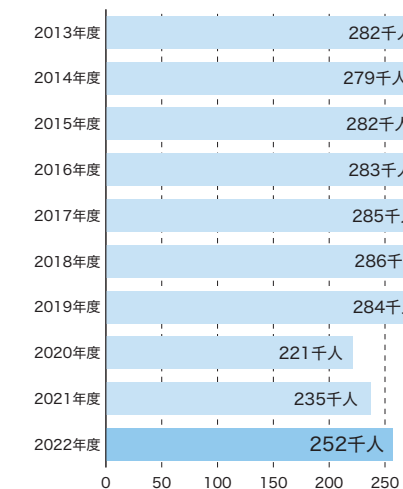
1日平均通過人員および乗車効率



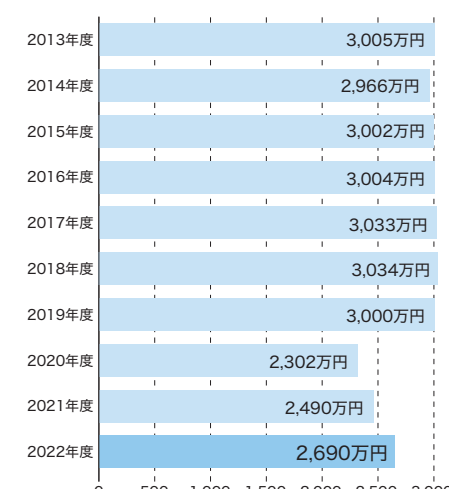
1日平均客車走行キロの推移



1日平均輸送人員の推移



1日平均旅客運輸収入の推移



ラッシュ時における最混雑区間の輸送量および混雑率の推移 (最混雑1時間平均)

項目	2018年度*	2019年度*	2020年度	2021年度	2022年度
輸送力	10,444人	10,444人	9,698人	9,698人	9,698人
輸送人員	12,482人	12,629人	9,200人	9,269人	9,580人
混雑率	120%	121%	95%	96%	99%

(注) 最混雑区間 前原▶新津田沼 (※ 2018年度、2019年度は上本郷▶松戸)

2022年度鉄道事業の概況

最近10年間の設備投資額

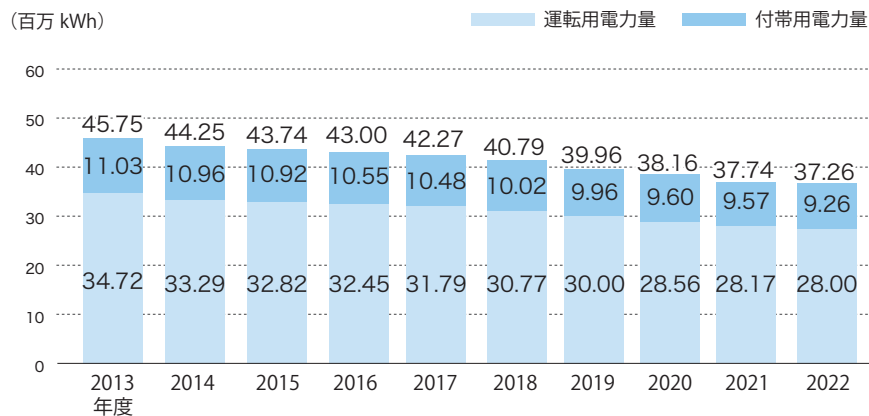
期 間	投 資 額	期 間	投 資 額
2013年度	1,931百万円	2018年度	3,132百万円
2014年度	2,352百万円	2019年度	3,891百万円
2015年度	2,999百万円	2020年度	1,560百万円
2016年度	2,712百万円	2021年度	3,443百万円
2017年度	3,159百万円	2022年度	3,578百万円

車両数の推移

(両)

年度 項目	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
電動客車	88	88	88	88	88	88	88	88	88	89
制御客車	46	46	44	44	44	42	40	40	38	36
付随客車	28	22	24	24	24	26	28	28	30	31
計	162	156	156	156	156	156	156	156	156	156

電力消費量の推移



所要時分表

所要時分	松戸	3	4	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	26	28	30	31	33	34	36	38	40	44
3	上本郷	1	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	23	25	27	28	30	31	33	35	37	41	
4	1	松戸新田	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	22	24	26	27	29	30	32	34	36	40	
5	2	1	みどり台	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	21	23	25	26	28	29	31	33	35	39	
7	4	3	2	八柱	2	4	6	8	10	12	14	16	18	19	21	23	24	26	27	29	31	33	37	
9	6	5	4	2	常盤平	2	4	6	8	10	12	14	16	17	19	21	22	24	25	27	29	31	35	
11	8	7	6	4	2	五香	2	4	6	8	10	12	14	15	17	19	20	22	23	25	27	29	33	
13	10	9	8	6	4	2	元山	2	4	6	8	10	12	13	15	17	18	20	21	23	25	27	31	
15	12	11	10	8	6	4	2	くぬぎ山	2	4	6	8	10	11	13	15	16	18	19	21	23	25	29	
17	15	14	13	11	9	7	5	3	北初番	2	4	6	8	9	11	13	14	16	17	19	21	23	27	
19	16	15	14	12	10	8	6	4	1	新鎌谷	2	4	6	7	9	11	12	14	15	17	19	21	25	
21	18	17	16	14	12	10	8	6	3	2	初番	2	4	5	7	9	10	12	13	15	17	19	23	
23	21	20	19	17	15	13	11	9	6	5	3	鎌谷	2	3	5	7	8	10	11	13	15	17	21	
25	22	21	20	18	16	14	12	10	7	6	4	1	二和初番	1	3	5	6	8	9	11	13	15	19	
26	24	23	22	20	18	16	14	12	9	8	6	3	2	三咲	2	4	5	7	8	10	12	14	18	
28	25	24	23	21	19	17	15	13	10	9	7	4	3	1	津不動	2	3	5	6	8	10	12	16	
30	27	26	25	23	21	19	17	15	12	11	9	6	5	3	2	高根公園	1	3	4	6	8	10	14	
31	28	27	26	24	22	20	18	16	13	12	10	7	6	4	3	1	高根木戸	2	3	5	7	9	13	
33	30	29	28	26	24	22	20	18	15	14	12	9	8	6	5	3	2	北千葉	1	3	5	7	11	
34	31	30	29	27	25	23	21	19	16	15	13	10	9	7	6	4	3	1	新津田沼	2	4	6	10	
36	33	32	31	29	27	25	23	21	18	17	15	12	11	9	8	6	5	3	2	鎌田	2	4	8	
38	35	34	33	31	29	27	25	23	20	19	17	14	13	11	10	8	7	5	4	2	前原	2	6	
40	37	36	35	33	31	29	27	25	22	21	19	16	15	13	12	10	9	7	6	4	2	新津田沼	3	
44	41	40	39	37	35	33	31	29	26	25	23	20	19	17	16	14	13	11	10	8	6	3	京成津田沼	

京成津田沼からの 京成千葉線所要時分	京成幕張本郷	京成幕張	検見川	京成稲毛	みどり台	西登戸	新千葉	京成千葉	千葉中央
	2	4	6	9	11	13	14	15	17

(2023年3月31日現在)

テロ対策・防災

① テロ対策

国土交通省が定める「鉄道テロ対策としての危機管理レベル」に基づき、レベルに応じた保安措置をマニュアル化するとともに、鉄道テロ発生を防止するため防犯カメラの設置、係員による巡回監視、警察と合同による不審物を発見した際の初動対応の訓練などを実施しています。



② 強風・降雨対策

〈気象情報監視システム(風速計・雨量計)〉

風向風速計を2017年10月に2カ所増設し、現在は南花島架道橋(松戸～上本郷駅間)・新鎌ヶ谷(新鎌ヶ谷～初富駅間)・滝台橋りょう(薬園台～前原駅間)・総武線乗越橋りょう(新津田沼～京成津田沼駅間)に設置しています。また、雨量計は2017年10月に2カ所増設し、現在は南花島架道橋・新鎌ヶ谷・薬園台・総武線乗越橋りょうに設置しています。

各所で観測した風向・風速および降雨量のデータは運輸指令所まで伝送させ集約しており、このデータに基づいて速度規制や運転休止などの「早め規制」判断に役立っています。

集約したデータについては、関係する各職場においてモニタリングできるよう整備されており、運行管理の安全性と即時対応性の向上を図っています。



風向風速計

③ 地震対策

〈地震計〉

地震計で一定程度以上の揺れを観測した場合には、列車無線を通じて自動的に全列車へ緊急停止を指示します。これを受けた運転士は速やかに列車を安全な場所に停止させます。

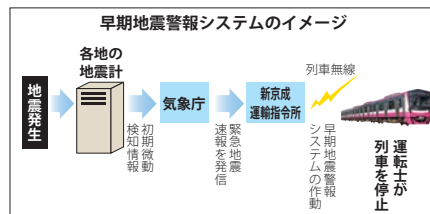


〈早期地震警報システム〉

大規模地震発生時の被害を最小限に抑えるため、2007年11月から「早期地震警報システム」を導入しています。

このシステムでは、震源に近い地震計で観測した地震の初期微動(P波)の情報をもとに、その後の大きな揺れ(S波)の規模や到達時間を知らせる気象庁の「緊急地震速報」を当社の運輸指令所にて受信します。そして、被害の発生が予測される場合には、列車無線を通じて自動的に全列車へ緊急停止を指示します。

2009年3月、2012年3月および2019年11月には、機能向上の改良を行い、安全性の向上に努めました。



列車の安全対策

① TTC (列車運行管理装置)

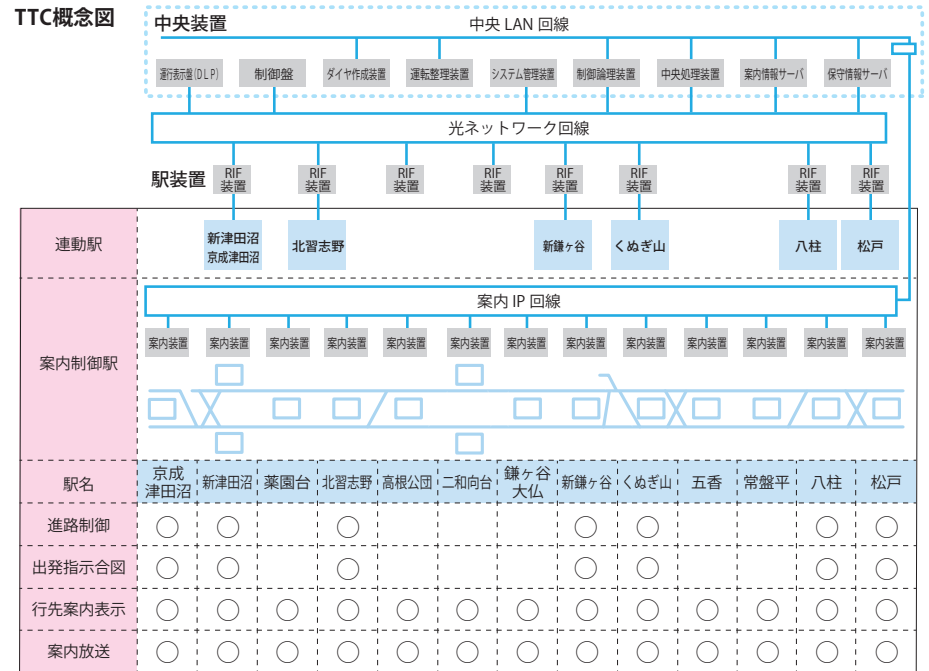
安全・安定輸送を維持するため1987年に導入したTTCを2004年に更新しました。

このシステムは、あらかじめ登録したダイヤによる自動進路制御のほか、運転整理提案、手動進路制御、線路閉鎖などの機能を有しています。運輸指令所

では60インチ画面を4面配置し、グラフィック表示により列車運行状況、電力供給情報、地震情報、気象情報などを即時共有できるようにしました。

また、制御は液晶画面2面とマウス操作に変更し、操作性を向上させました。

TTC概念図



2 ATS (自動列車停止装置)

ATSは、列車が停止すべき箇所や減速すべき箇所を越えて進行した場合に、列車のブレーキを自動的に作動させて、事故の発生を防ぐための装置です。

当社では1979年から全線において「1号型ATS」を使用していますが、これはレールに流れる信号電流の遮断時間により、信号現示に応じた速度情報を列車に伝達する方式のものです。「1号型ATS」では、基本的に45km/h制限と15km/h制限の2情報のみを地上から送信し、車上では受信時の速度に対し必要に応じてブレーキが作動します。

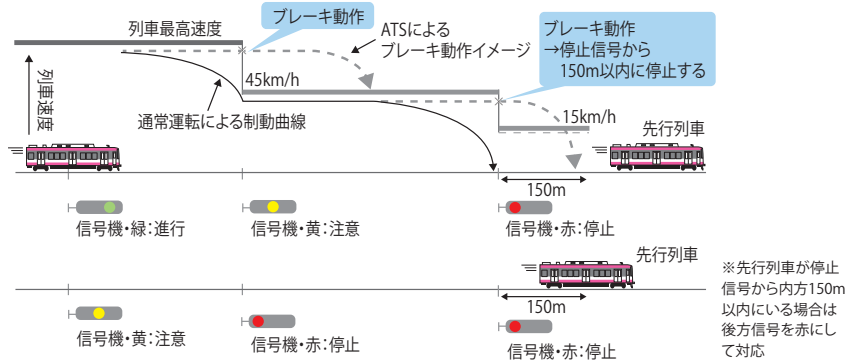
「1号型ATS」でも国が定める安全基準を満たしていますが、時代の要請に応えることと

当社独自のさらに高い安全性の確保を目的として、2014年度よりデジタルATSの導入を開始しました。

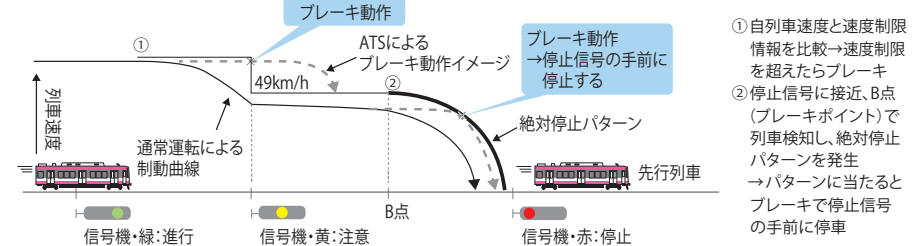
デジタルATSは信号現示や線路条件に応じた速度制限情報を、デジタル符号信号により地上から車上へ伝送する方式のもので、地上から車上へ伝達できる情報数が飛躍的に増大したことにより(最大63情報)、きめ細かい速度制限が可能となりました。

デジタルATSの特長としては、絶対停止機能を標準で使用できることや、パターン信号(自列車速度と速度制限情報を比較しながら速度超過の有無をチェックする仕組み)を使用できることが挙げられます。

1号型ATSの制御例



デジタルATSの制御例



※2023年3月時点で京成津田沼～高根木戸駅間、鎌ヶ谷大仏～松戸駅間で使用中。以降、新京成線全線へ順次導入予定

3 継電連動装置と自動閉そく信号機

列車運行の安全を確保するため、停車場に構内の信号機と転てつ器を連動させる第1種継電連動装置を設置しています。また、停留場および駅中間部に自動閉そく信号機を設置しています。

なお、信号機は最短3分間隔での運行に対応できるように配置しています。

2018年3月に車両入換運転の保安度向上を目的とし、車両基地に第1種継電連動装置を導入しました。

信号保安設備表

設備名	設備数	
第1種継電連動	7カ所	
信号機	場内	17基
	出発	18基
	入換	17基
	閉そく	110基
	中継	11基
電気転てつ器	22基	

車両基地第1種継電連動装置設備表

設備名	設備数
入換信号機	35基
電気転てつ器	23基

4 脱線防止ガード

車輪の乗り上がりによって、車両が脱線することを防ぐために、半径250m以下の曲線に脱線防止ガードを設置しています。



5 運転士異常時列車停止装置

・緊急スイッチ

運転士異常時列車停止装置は運転士が列車の走行中に一定時間運転操作を行わない場合、運転士に何らかの異常が発生したと判断し、安全確保のために非常ブレーキを動作させて列車を停止させる装置で、全編成に設置しています。

緊急スイッチは、列車に非常事態が発生した際に運転士が行うべき操作を1つのボタンで迅速に行うことができる装置で、全編成に設置しています。



駅の安全対策

1 車間転落防止幌

ホームからお客さまが車両連結部へ転落する事故を防止する車間転落防止幌を全編成に設置しています。



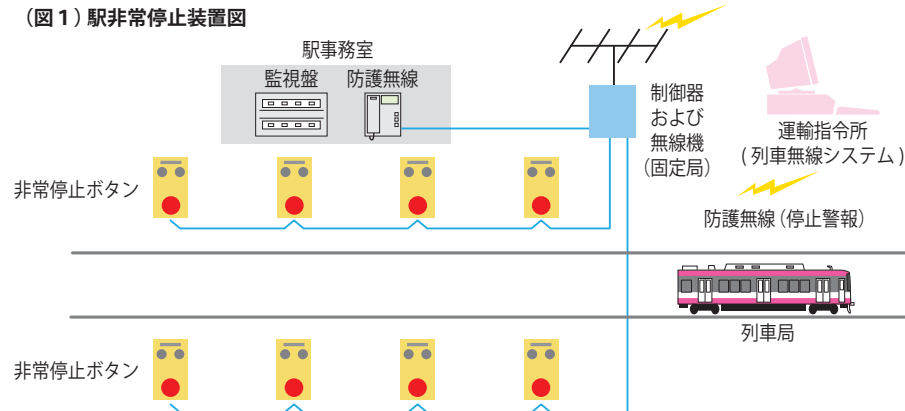
2 駅非常停止装置

ホームからの転落事故に対応するため、2002年から駅非常停止装置を導入し、全24駅に設置しました。ホームに設置された非常停止ボタンが押されると防護無線を発報し、付近を走行している列車に停止警報を送出します。(図1)



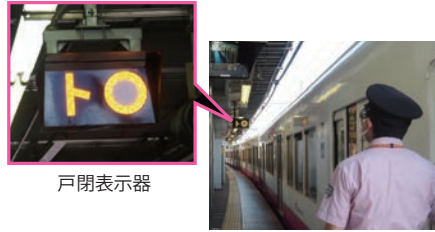
非常停止ボタン

(図1) 駅非常停止装置図



3 戸閉表示器

ホーム監視員から車掌に対して閉扉の支障の有無を表示する戸閉表示器を4駅に設置しています。



戸閉表示器

4 CPライン

色彩心理学 (Color Psychology=CP) を活用し、ホームからお客さまが線路へ転落する事故を防止する対策としてCPラインを八柱駅、常盤平駅、五香駅、新鎌ヶ谷駅、北習志野駅、新津田沼駅、京成津田沼駅に導入しています。



5 内方線

視覚障害をお持ちの方などのホームからの転落事故防止策として、ホーム緑端警告ブロックを全駅に設置していますが、さらに安全性の向上を図るべく、ホームの内外を知らせる内方線の設置を進めています。現在24駅中21駅に設置しています。



6 エレベーター出入口付近の平坦化

車いすをご利用の方がエレベーターでホームに降りた際の転落事故防止策として、エレベーター出入口付近を平坦化しています。



7 遠隔制御カメラによる駅構内の監視

遠隔制御が可能な録画機能付防犯カメラは、前原駅・習志野駅・高根木戸駅・滝不動駅・三咲駅・初富駅・北初富駅・みのり台駅・松戸新田駅・上本郷駅の計10駅に設置しています。これはホームや改札口などの常時監視を行うことで、トラブルの際にも現地の状況を即座に確認できるようにし、安全性を向上させるものです。また、ホームには係員が対応できるようインターホンを設置しています。



8 ホームベンチの向きの変更

ホームのベンチを線路に対し、垂直に設置することでホームからの転落事故防止に効果があることから、ベンチの向きを変更する取り組みを進めています。



通信設備

鉄道では、運転保安および正確な列車運行の確保のため、正確迅速な情報伝達の必要があり、列車無線、保守無線、各直通電話（運輸指令電話、鉄道業務電話など）を独自の情報伝達網として整備しています。

①列車無線

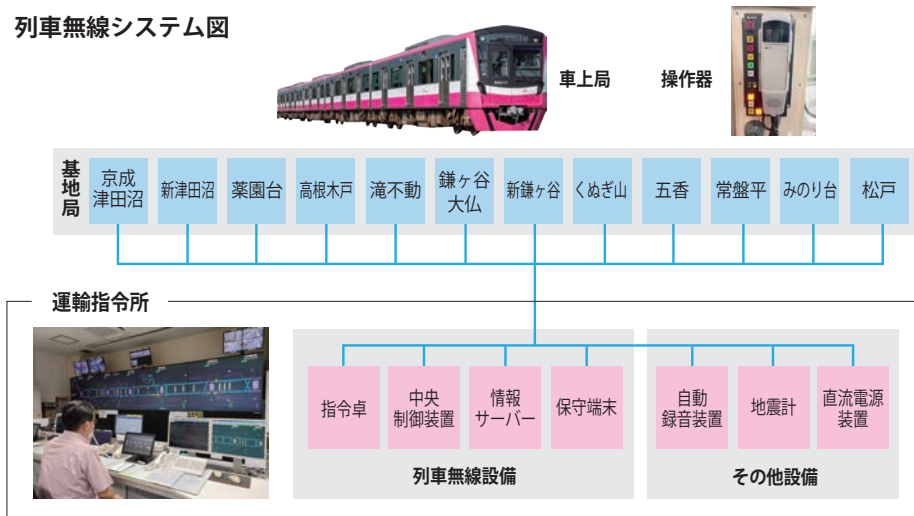
運輸指令所と列車乗務員間の連絡手段として、列車無線システムを導入していますが、従来のアナログ列車無線をデジ

タル列車無線に更新し、2022年5月より使用開始しました。

従来システム同様、同時送受話方式の無線電話で、指令卓での列車番号による各種管理（表示）機能を有しています。またデジタル化により「一斉」と「個別」の同時通話が可能になるとともに、データ伝送にも対応しています。

なお、この無線には防護無線を併設しており、発報列車の半径約800mの範囲内を走行する列車に対し、停止警報を送出します。

列車無線システム図



無線設備表

項目	列車無線		駅無線		保守無線	防災無線
	通話無線	防護無線	通話無線	防護無線		
送信周波数	150MHz帯4対波	370MHz帯1波	150MHz帯4対波	370MHz帯1波	150MHz帯1波	150MHz帯1波
送信出力	基地局=4W 車上局=0.6W	車上局=0.6W	0.6W	0.6W	5W	5W
基地局	12局	—	—	24局	3局	1局
車上局	55局	55局	—	—	—	—
移動局	—	—	—	—	49局	65局
固定局	12局	—	24局	—	—	—

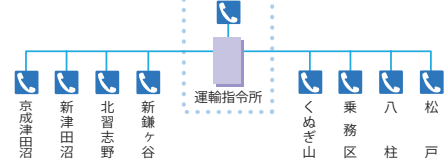
②保守無線

作業現場間または通信所との迅速な情報連絡を行うため、1996年に保守無線を導入、2010年には基地局を2カ所増設し、計3カ所としました。通信所は本社、電力指令所、運輸指令所、乗務区、車両区、電力区、信号通信区および保線区に配置しています。

③運輸指令電話

運輸指令電話は、運輸指令所と運転取り扱い駅との連絡のため設置した専用電話で2018年に更新しました。一斉指令が可能なデジタル電子交換機で構成されています。

運輸指令電話システム図



④鉄道業務電話

鉄道業務電話は、駅、指令所、各現業区、本社などの連絡のためのもので、高根木戸および五香に電子交換機を設置しています。2007年の更新によりデジタル化され、ダイヤル即時通話が可能なシステムとしています。2014年には、駅係員用スマートフォンとの相互通話が可能となりました。2019年の更新では、災害時における装置の電源確保を目的として発電機を設置しました。

⑤その他の通信設備

列車乗降時の安全確保や、お客さまへのサービス向上を図るため、各駅に曲線ホームや橋上駅におけるお客さまの安全を確認するためのホーム監視用テレビ、列車の接近を案内する自動放送装置などの設備を設けています。



ホーム監視用テレビ

設備名	設備数	設備名	設備数
自動放送装置設置駅	24駅	設置駅	16駅
ホーム監視用カメラ	14駅	インターホン	17台
監視用テレビ	47台	親子機	39台
電気時計	24駅	設置駅	7駅
親子時計	24台	トークバック	6台
子時計	100台	親子機	26台

踏切の安全対策

当社には71カ所の踏切があります。

踏切事故の防止を図るため、全ての踏切に遮断機および警報機を設置しています。

また、交通量の多い踏切に踏切支障報知装置や大型踏切警報機を設置し、踏切事故の防止に役立っています。

1 踏切支障報知装置

〈支障報知装置〉

踏切内に異常があり、列車を止める必要がある場合、非常ボタンを押すことで、特殊信号発光機を点灯させます。



〈踏切障害物検知装置〉

列車接近時、自動車などにより光線が遮断されると自動的に支障物として検知し、特殊信号発光機を点灯させます。



〈特殊信号発光機〉

5灯の赤色灯が2灯ずつ、回転点灯することにより、列車に対して踏切に異常があることを知らせます。



2 全方向型踏切警報灯

どの角度からも踏切の点滅が視認できる警報灯で、71カ所の踏切道のうち31カ所に設置しています。



3 発光式踏切警標（点滅するクロスマーク）の設置

比較的交通量の多い踏切に設置しています。



4 大型踏切警報機

通常は「踏切注意」の文字を表示し、列車接近時は赤色灯が点滅する大型の閃光灯を道路上空に設置し、踏切の視認性を向上させています。



視認性のよい大型踏切警報機

5 踏切保安設備改善の推移

項目 年度	踏切数	踏切支障報知装置 設置踏切数	大型踏切警報機 設置踏切数
2012	81	57 (44)	7
2013	81	62 (46)	8
2014	81	72 (44)	8
2015	81	77 (46)	8
2016	81	77 (47)	8
2017	81	78 (48)	8
2018	81	78 (49)	8
2019	71	70 (45)	8
2020	71	70 (46)	8
2021	71	70 (47)	8
2022	71	70 (48)	8

() 内は踏切障害物検知装置併設踏切数

6 踏切内停滞の予防活動

踏切が閉まったとき、線路を渡り切れずに踏切内に取り残されてしまう歩行者や車両が増えています。当社ではこうした踏切内停滞を防止するため、春と秋の交通安全運動期間中における啓発活動や当社イベント時に踏切脱出体験を実施しています。また、踏切内に閉じ込められたときに押し曲げて脱出できる屈折遮断かんの導入や、踏切外への脱出を促進する音響設備の設置を進めています。



その他の取り組み

①異常時訓練の実施

お客さまの安全・安心を第一に、万一の事故・災害など緊急事態が発生した場合、迅速かつ的確な初動対応、判断力・対応力の向上を図るため異常時を想定したさまざまな訓練を実施しています。

●事故復旧訓練

列車事故など、万一の事態を想定した応急復旧模擬訓練を実施しています。



●防犯訓練

同業他社で発生した凶悪犯罪への備えとして、外部講師を招き、刃物を持った不審者に対する訓練を実施しています。



②安全に関する内部監査の実施

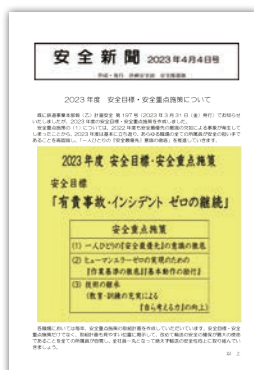
安全管理体制のチェック機能として、経営管理部門（経営トップ、安全統括管理者）、鉄道事業本部各部門ならびに現業部門に対して当社社員による安全に関する内部監査を実施しており、これにより安全管理体制が適切かつ有効に運用されているかを検証しています。



③安全新聞の発行

社員の輸送の安全に関する理解と、異なる職場同士の輸送の安全確保の取り組みについての共有をさらに深めるため、社内で安全新聞を発行しています。

各職場での事故防止対策などを取り上げ、事故の未然防止のための情報を社員に提供することで安全意識の向上を図っています。



④引込防止注意喚起ステッカー

ドア開閉時にお客さまの手やカバンなどが戸袋に引き込まれないよう注意喚起をするため、車両ドアの両側にステッカーを貼り付けています。



⑤踏切脱出体験

安全啓発活動の一環として、踏切内に取り残されてしまった際の脱出方法を知ってもらうために、踏切脱出体験を実施しています。当社開催イベントなどで実施しており、多くのお客さまに体験していただいています。



⑥安全発表会の実施

さらなる安全意識の向上を目的として、輸送の安全確保の取り組みやヒヤリ・ハットの改善事例などを各現業職場が発表し、情報共有を行っています。



⑦経営層による職場巡視の実施

社長をはじめとする経営層や安全統括管理者をはじめとする各管理者が随時職場巡視を行い、社員との意見交換を通じて輸送の安全確保の取り組み状況を確認しています。



エレベーター・エスカレーター

現在、エレベーターは21駅に、エスカレーターは19駅に設置しています。



松戸駅エレベーター

メッセージ表示器

メッセージ表示器を設置しており、全駅で運行情報の案内表示（一部、列車案内表示器を兼用）を実施しています。



列車案内表示器

ホームやコンコースでお客さまに列車の行先案内・発車時刻の案内などを自動的に表示します。現在13駅に設置しています。



運行情報ディスプレイ

自社線や近隣他社線で運行支障が発生した際、文字と路線図で支障区間などを表示してご案内する運行情報ディスプレイを、全駅に設置しています。2018年3月からは、訪日外国人のお客さまへのご案内を強化するため4言語（日本語、英語、中国語（簡体字）、韓国語）での運行情報提供をしています。また、大規模災害時などはNHKの非常災害時緊急放送を放映することができるほか、平常時はおでかけ情報などを提供します。



自動放送装置

全駅において、列車の接近を知らせる放送や、啓発放送などを自動制御により行っています。2018年3月には全ての機器を更新しました。



遠隔監視システム

遠隔監視・遠隔制御による運用を10駅で実施しています。

被監視駅には防犯カメラやテレビ電話、インターホンを設置しています。被監視駅の事務室およびセンターには防犯カメラの映像を見るためのモニターとインターホンの受話器があり、時間帯により被監視駅またはセンターの係員が対応します。2019年度からスリムタイプの新型テレビ電話に順次更新し、2020年12月をもって更新が完了しました。



防犯カメラ



新型テレビ電話



センターの監視モニター

新京成線アプリ

お客さまの利便性の向上を目的に、2019年3月から、公式スマートフォンアプリ「新京成線アプリ」を無料配信しています。新京成電鉄ホームページに掲載している運行情報に加え、列車走行位置を確認することができます。また、選択した駅の発車予定時刻や到着予定時刻、駅ホームの構内図などをアプリからご確認いただけます。2020年7月から首都圏鉄道12社局の各社公式スマートフォンアプリとの連携、2023年3月からJR東日本が提供する「リアルタイム経路検索サービス」へのデータ提供を行っています。



アプリのダウンロード方法

右のキーワードで検索してください。 **新京成線アプリ** 検索

iPhoneの方はこちらから Androidの方はこちらから



駅案内サイン

お客さまにわかりやすく駅をご利用いただくために、案内サインを導入しています。現在のデザインは2014年に制定したシンボルマーク・コーポレートカラーに合わせたデザインとなっています。



駅ナンバリング

外国人のお客さまや小さなお子さまなど、どなたにもわかりやすくご利用いただけることを目的に、駅名に固有のアルファベット (SL) と番号を付した、駅ナンバリングを導入しています。



サービス介助士

「サービス介助士」の資格取得を推進しています。

「サービス介助士」資格は公益財団法人「日本ケアフィット共育機構」が認定する民間資格で、サービス介助の基本理念や基礎知識、接遇、実際の介助技術を習得した者に与えられます。



駅従業員の資格取得状況
(2023年3月31日現在)

有資格者 駅従業員 143人
※駅全従業員数 152人

駅施設バリアフリー設備の推進

視覚障害のあるお客さまや高齢のお客さまも安心して当社線をご利用になれるよう全駅に視覚障害者誘導ブロックを設置したのをはじめ、点字シール付き自動券売機・点字運賃表 (全駅)、階段手摺点字案内シート (全駅)、エスカレーター (19駅)、エレベーター (21駅)、スロープ (5駅) などを設置しているほか、列車内には優先席を全車に設けています。



新鎌ヶ谷駅エレベーター

AEDの設置

お客さまが心室細動を生じたとき、自動的に心電図を解析し電気ショックを与えて細動を取り除くAED (自動体外式除細動器) を全駅に設置しています。



車いす用スロープ板

ホームと列車との段差・すき間を解消し、車いすをご利用のお客さまが安全に列車に乗り降りできるように、全駅に車いす用スロープ板を設置しています。



バリアフリーに対応したトイレ

車いす対応トイレ (個室) を導入し、全駅に設置しています。



翻訳ツールの導入

外国人のお客さまへのご案内の充実を目的に、ご案内を瞬時に翻訳できる小型の音声翻訳機「ポケットーク」 (全駅) や、誘導や避難時のアナウンスで活用できるメガホン型の音声翻訳機「メガホンヤク」 (3駅) などを導入しています。



お客さまサービス・車両

車内文字案内装置・ドアチャイム

聴覚障害のあるお客さまのために、車両の出入り口上部に行き先、停車駅などをお知らせする案内装置を現在全車両に設置しています。2016年からは、一部車両を4カ国語表記にしました。

また、視覚障害のあるお客さまのために車両のドア開閉をお知らせするドアチャイムを全車両（156両）に設置しています。



車いす・ベビーカースペース

車いすやベビーカーをご利用になるお客さまのために、両先頭車に車いす・ベビーカースペースの設置を進めてきました。現在全編成（52両）に設置しています。



優先席

お体の不自由なお客さまや高齢のお客さま、妊娠されているお客さまなどの優先席を全車両（156両）に設置し、窓ガラスに「優先席」のステッカーを貼付しています。また、優先席の明確化を図るために優先席付近のつり革を黄色に変更しています。



弱冷房車

冷房が苦手なお客さまもご乗車中快適にお過ごしいただけるように、温度をやや高めに設定した弱冷房車を、1編成に1両設定しています。



広告媒体

接触率の高さやエリアセグメントができるといった交通広告の特性を生かし、鉄道施設を使用した広告媒体を複数提供しています。

車体広告（ラッピング電車）

地平区間が多いため視認性が良く、鉄道利用者以外への広告効果も見込めます。パートラッピングとフルラッピングの2種類を提供しています。



車両広告

利用者の目に長時間触れる、高い視認性のある広告です。中吊り広告や窓うえ広告などを提供しています。



駅広告

利用者1人当たりに対して多くの接触回数が期待できる広告です。駅ばりポスターや駅電飾ボードなどを提供しています。



デジタルサイネージ

駅出口付近に設置しており、利用者の多くが目にする媒体です。動画・静止画での表示が可能で、現在新鎌ヶ谷駅、北習志野駅、新津田沼駅の3駅に設置しています。



ICカードPASMO

PASMOは、鉄道やバスのきっぷとして利用できるICカードです。電子マネー加盟店では電子マネーとしてお買い物の支払いにも利用できます。記名PASMOと無記名PASMOの2種類があり、記名PASMOは紛失時に再発行できるほか、鉄道定期券を載せることができます。また、記名人が小児運賃で利用できる小児用PASMOもあります。無記名PASMOは誰でも利用できるPASMOです。

2020年から新たにモバイルPASMOおよびApple Pay™のPASMOのサービスが導入されました。スマートフォンなどの対応端末にアプリケーションをインストールすることで、従来のICカード式PASMOと同様に交通利用や電子マネーでの使用が可能となるほか、残額や履歴を端末の画面で確認できるようになります。加えて、会員登録や本人名義のクレジットカードを登録することで、端末の操作で定期券の購入や紛失・故障時の再発行などのサービスを受けることができます。

チャージ専用機

2019年度から導入したチャージ専用機は10駅（10台）に設置しており、ICトレイに、PASMO・Suicaなどの全国相互利用対応のICカードやモバイルPASMO・モバイルSuicaなどの対応端末を置いた状態で現金チャージをすることができます。



自動券売機

自動券売機は全駅に設置しており、きっぷのほか、新規・継続の定期券（新規の通学定期券など一部を除く）を、お客様の操作により現金または京成カード（クレジットカード）で購入できます（京成津田沼駅を除く）。また、PASMO・Suicaなどの全国相互利用対応のICカードにも対応し、チャージ・履歴印字などできます。

2017年度から、当社のコーポレートカラーを基調とした新型券売機に更新を行い、2020年3月をもって更新が完了しました。



のりこし精算機

のりこし精算機は、全駅に設置しており、不足金額を現金・ICカードで精算できます。

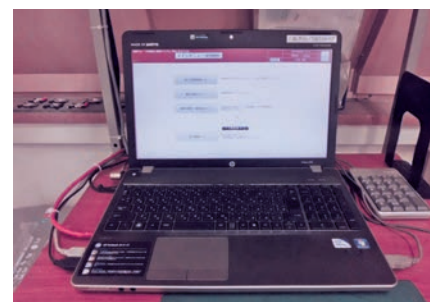
また、PASMO・Suicaなどの全国相互利用対応のICカードやモバイルPASMO・モバイルSuicaなどの対応端末にチャージすることもできます。

2018年度から、ICトレイを搭載した新型精算機に更新を行い、2020年3月をもって更新が完了しました。



収入管理システム

駅後方事務の効率化と正確化を図るため、全駅で自動券売機や自動改札機などのデータが一括集計処理できる収入管理システムを導入しています。集計されたデータは、各駅より光回線を使用しオンラインにて本社に伝送処理されています。



窓口処理機

窓口処理機は、係員が改札窓口にて操作している機器で、乗車券の精算やICカードなどの状態を確認・処理することができます。そのほかにも、運賃検索やPASMOの発行、お客さまが紛失してしまったPASMOなどの再発行手続き、10円単位でのチャージなどをすることができます。

2017年2月に全駅の改札窓口に設置している窓口処理機を更新しました。



係員定期券発行機

松戸・八柱・北習志野・新津田沼の4駅では、係員による定期券の発売を行っています。係員定期券発行機では、定期券の発売だけではなく、払いもどしやICカードの交換、多機能カードの更新処理などをすることができます。また、窓口処理機と同様にPASMOの発行、お客さまが紛失してしまったPASMOなどの再発行手続き、10円単位でのチャージなどもすることができます。



自動改札機とフェアスルーシステム (乗降確認システム)

車いす対応の幅広型も含め全駅に自動改札機を導入しています。

近年では、多くのお客さまにICカードやモバイルPASMO・モバイルSuicaなどをご利用いただいていることから、一部の改札機をIC専用機とするほか、通路構成も変更し、よりスムーズにご利用いただけるようにしました。

また、全てのお客さまに公平にご利用いただくことを目的に、フェアスルーシステム（乗降確認システム）を導入しています。このシステムでは、自動改札機などで乗車券へ入出場の情報を記録し、お客さまの乗降状況をチェックしています。



連続立体交差事業

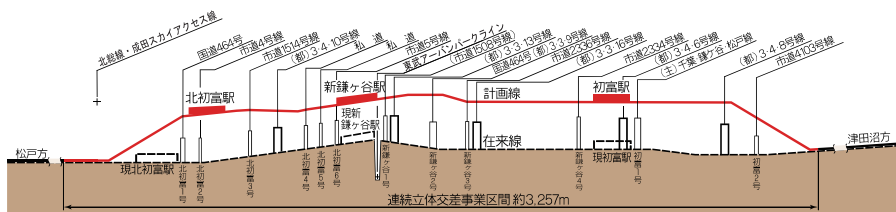


高架化された線路を走る 80000 形車両

新京成線（鎌ヶ谷大仏～くぬぎ山駅間）連続立体交差事業は、2002年7月の工事着手から約20年を経て、2019年12月1日の上り線高架化により全線高架化を迎えました。

連続立体交差事業は千葉県・鎌ヶ谷市・新京成電鉄が共同で進める都市計画事業で、踏切による渋滞や事故の解消、沿線地域の活性化などを目的として、約3.3kmを連続して高架化するもので、全線高架化により12カ所の踏切を撤去しました。

今後は、仮線跡地に関連側道を整備し、高架下の有効活用に取り組んでいきます。事業完了は2025年3月を予定しています。



初富駅

テーマ：「文化」 イメージカラー：青

デザイン：折り紙や紙飛行機のモチーフを取り入れた落ち着いたイメージ



新鎌ヶ谷駅

テーマ：「創造」 イメージカラー：赤

デザイン：未来に向けて力強く成長する様子をイメージ



北初富駅

テーマ：「共生」 イメージカラー：緑

デザイン：空高く流れる風や雲をイメージ

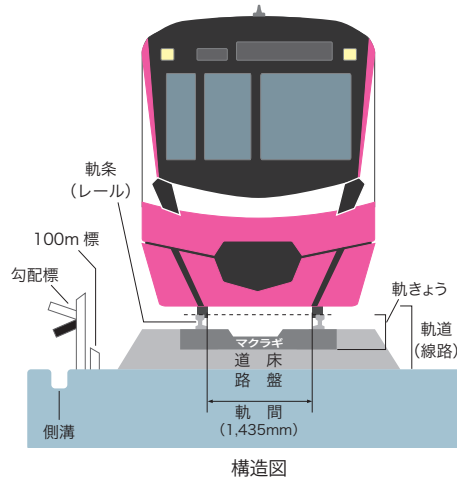


線路の強化と保守

線路は列車の走行や自然の力によって常に影響を受けているので、線路を正常な状態に保つために日夜、保守点検作業を行っています。

線路の弱点であるレール継ぎ目は、ロングレール（1本のレールの長さが200m以上のもの）化によって減らすことができます。

当社は、曲線半径400m以上の区間をロングレール化しており、本線路約53kmのうち約24kmが完了しています。軌条の運搬にはモーターカーを使用しており、現在2両在籍しています。



構造図



ロングレール化工事を行った線路



モーターカー

軌条重量別軌道延長表

(単線換算軌道延長 単位：m)

本線		側線				計	合計
60kg	50kgN	50kgN	40kgN	37kg	計		
479	52,545	653	339	4,946	5,938	58,962	

マクラギ敷設延長表

(単線換算軌道延長 単位：m)

本線			スラブ	合計
PCマクラギ	木マクラギ	合成マクラギ		
50,485	157	1,303	1,079	53,024

線路表

動力	軌間 (mm)	本線路延長			単線換算軌道延長		
		単線 (m)	複線 (m)	計 (m)	本線 (m)	側線 (m)	計 (m)
電気	1,435	1,237	25,316	26,553	53,024	5,938	58,962

車両基地

車両基地のあらまし

車両の検修施設は1975年9月にくぬぎ山車両基地を建設し、同年11月から業務を開始しました。

1979年4月、同基地に隣接した車両検修場が完成、外注による検修業務を開始しました。

1982年3月には輸送力増強計画に基づき、同基地の改造および拡張工事を行いました。また、1998年4月に留置線増線工事を行い車両の収容能力の増加を図りました。

2018年3月には同基地の車両入換作業の安全性向上のため第1種継電連動装置を導入しました。

車両の点検整備

列車を安全に運行するには、車両を常時最善の状態に整備しておくことが必要です。このため、列車を営業線に出すための日常点検と、定められた一定期間ごとに行う検査を実施しなければなりません。

日常点検として、出庫前には出庫点検、入庫後には納庫点検を行います。また、列車検査、月検査、重要部検査、全般検査を行い、それぞれの検査の目的に沿って車両を整備し、列車の状態を最善の状態に維持します。



コンプレッサーの点検 (月検査)

車両基地の概要

1. 在籍人員	35人
2. 敷地面積	25,136.98㎡
3. 建物面積	3,739.26㎡
4. 主要業務	列車検査、月検査、随時検査
5. 設備機械	自動車両洗浄機 1基 軽工作機械、各種試験装置、非常用復旧器材、貨物自動車、軽貨物自動車、セキュリティ侵入防止システム、第1種継電連動装置
6. 収容能力	156両

検修場の概要 (作業は外注化方式で施工)

1. 敷地面積	8,753.00㎡
2. 建物面積	6,994.01㎡
3. 主要業務	車両の定期検査 (全般検査、重要部検査)・改造・更新修繕・随時修繕、車輪の削正、その他
4. 設備機械	専用設備 (工作機械、動力機械他) 22台 荷役設備 (クレーン、運搬車他) 17台 試験装置 (各種車両用試験装置他) 9台 台車洗浄装置 1基 部品洗浄装置 5台 主回路試験装置 1台 列車性能試験装置 1基 車輪旋盤 1台 自動超音波探傷装置 1基 渦流探傷装置 1台 輪重測定装置 1台



1986年から他の民鉄に先駆けて VVVF インバータ制御を採用した 8800形車両を 1991年までに 96両導入しました。その後、1993年から 1996年までに、ステンレス車体、シングルアームパンタグラフを採用し、省メンテナンス化および省エネルギー化を目指した 8900形車両 24両を導入しました。

2005年からさらなる環境への配慮と省エネルギー化を図った N800 形車両 30 両を導入し、サービス向上に努めています。



2008年から 8000形車両 30両に VVVF インバータ制御化改造工事を施工し、2013年に全ての車両が VVVF インバータ車両となりました。

2014年から、コーポレートカラーであるジェントルピンクを車体裾部に配し、車体上部はベース色を白としたシンプルでさわやかな印象を与える新塗装に変更しました。

2019年 12月から京成電鉄と共同設計した 80000 形車両を 18 両導入しています。

80000 形

2019年 12月導入。「受け継ぐ伝統と新たな価値の創造」をコンセプトに、京成電鉄と共同で設計しました。車内に防犯カメラや空気浄化装置、2in1LCD 表示器、フリースペースを設置し、安全性・快適性・バリアフリー機能を向上させました。また、フル SiC-VVVF インバータ制御装置を搭載しています。



N800 形

2005年 5月導入。京成グループ標準設計をベースに「人に優しい車両」として 5 編成が在籍。車体はオールステンレスで空気バネ台車を採用し、乗り心地を向上しました。素子冷却に純水を使用し、環境にやさしくなりました。また停止まで回生ブレーキを制御する純電気ブレーキで省電力化を図りました。



8900 形

1993年 9月導入。自動放送、車内文字案内、車いすスペースなど旅客サービスを充実させました。車体はオールステンレスでボルスタレス空気バネ台車、シングルアームパンタグラフを採用しました。また、1998 年度からは停止まで回生ブレーキを制御する純電気ブレーキを他社に先駆けて採用しました。



8800 形

1986年 1月導入。1500V 区間用電車として他社に先駆けて長編成 VVVF インバータ制御を採用した車両で、空気バネ台車を採用し乗り心地を向上させました。2016年よりフル SiC 素子を適用した VVVF インバータ制御装置への更新工事を実施し、さらなる省電力化を図っています。2017 年からは内装の更新工事を実施しています。

鉄道電力

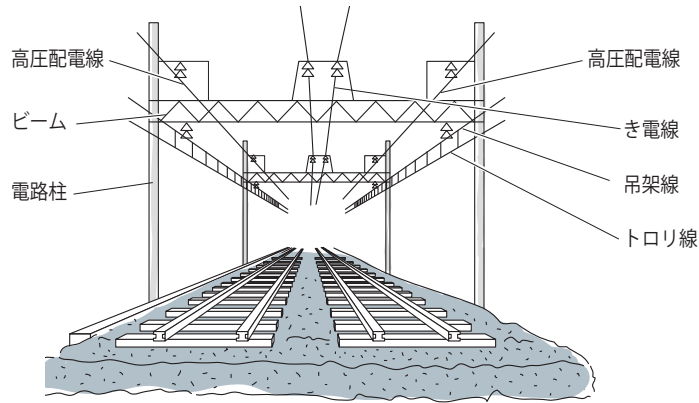
鉄道で使用する電力は、列車を動かす運転用電力と駅の照明・動力や信号機・踏切警報機などに使用する付帯用電力があります。

電力会社から特別高圧 60kV の電力を 5カ所の自社変電所で受電し、運転用電力は直流 1,500V に変圧・整流し、き電線・電車線を経て列車に、付帯用電力は交流 6,600V に変圧し、高圧配電線を経て

駅の電灯動力設備や信号機、踏切警報機などにそれぞれ供給しています。

年間で 37.26 百万 kWh、1 日当たり 0.10 百万 kWh の電力を使用していますが、運転用電力、付帯用電力それぞれの割合は 75.1% と 24.9% です。

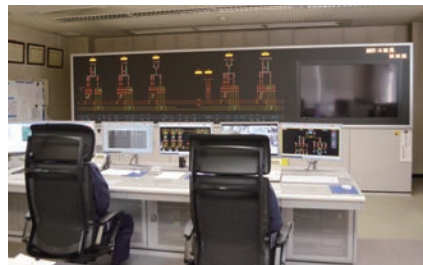
2016 年 6 月に各変電所を制御・監視している電力管理システムを更新して安全性・信頼性の向上を図っています。



電路設備図



変電所



電力指令所

電力設備と保守

鉄道線路に沿って設けられたトロリ線、き電線および高圧配電線など、これを支える電路柱、ビームなどの支持物が電路設備です。

トロリ線は重負荷に対応したヘビースンプルカタナリー（170mm²）方式を採用

しています。

コンクリート柱と鉄柱を使用していますが、順次強化コンクリート柱（N柱）化、かご型ビーム化して耐震性の向上を図っています。

電車線・高圧配電線

名称	亘長	延長	電線	種別
トロリ線	26.5 km	60.9 km	異形溝付硬銅線	170 mm ²
吊架線	26.5 km	60.9 km	亜鉛鍍鋼撚線・硬銅撚線	90 mm ² ・356 mm ²
き電線	50.5 km	106.2 km	硬アルミ撚線	510 mm ²
高圧配電線	26.6 km	53.2 km	トリプレックス型電力ケーブル	60 mm ²

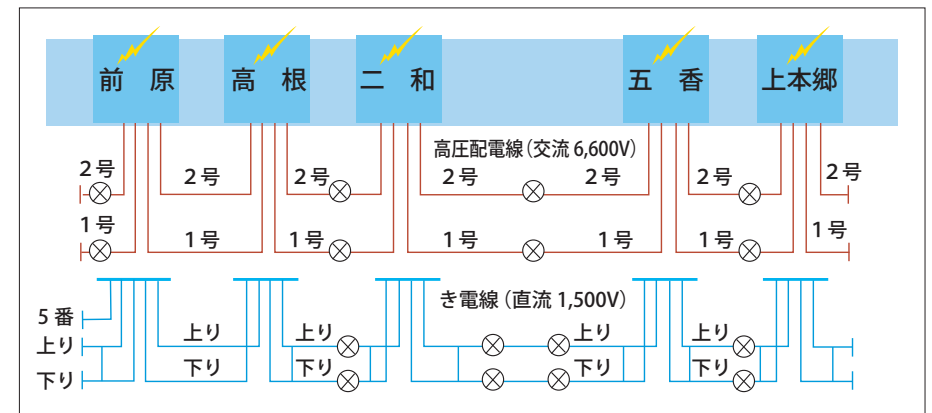
支持物

種別	数量
鉄柱	221 本
コンクリート柱	1,395 本
ビーム	775 基

変圧器

種別	数量
電灯用	59 台 (4,945kVA)
動力用	33 台 (3,400kVA)
信号用	38 台 (2,300kVA)

送電系統図



駅一覧

2023年3月31日現在

駅名	所在地	電話番号	駅開業年月日
松戸	松戸市松戸 1181	(047) 362-2014	1955.4.21
上本郷	松戸市上本郷 2648-11	※1	〃
松戸新田	松戸市松戸新田 264-2	※1	〃
みのり台	松戸市松戸新田 575-19	※1	〃
八柱	松戸市日暮 1-1-16	(047) 387-3451	〃
常盤平	松戸市常盤平 1-29	(〃) 387-3900	〃
五香	松戸市金ヶ作 408-8	(〃) 387-4394	〃
元山	松戸市五香南 1-5-1	(〃) 387-3684	〃
くぬぎ山	鎌ヶ谷市くぬぎ山 5-1-6	(〃) 443-8268	〃
北初富	鎌ヶ谷市初富 321-3	※2	〃
新鎌ヶ谷	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 1-13-1	(047) 446-5311	1992.7.8
初富	鎌ヶ谷市中央 1-2-19	※3	1949.10.7
鎌ヶ谷大仏	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 1-8-1	(047) 443-8267	〃 1.8
二和向台	船橋市二和東 5-38-1	(〃) 448-1020	〃 3.16
三咲	船橋市三咲 2-2-1	※3	〃 1.8
滝不動	船橋市南三咲 3-23-1	※3	1948.8.26
高根公団	船橋市高根台 1-6-1	(047) 466-4224	1961.8.1
高根木戸	船橋市習志野台 1-1-3	※4	1948.10.8
北習志野	船橋市習志野台 3-1-1	(047) 465-3020	1966.4.11
習志野	船橋市習志野台 4-1-9	※4	1948.10.8
薬園台	船橋市薬園台 6-1-1	(047) 466-4328	1947.12.27
前原	船橋市前原西 7-17-21	※5	1948.12.13
新津田沼	習志野市津田沼 1-10-35	(047) 475-1171	1947.12.27
京成津田沼	習志野市津田沼 3-1-1	(〃) 478-1414	1953.11.1

※1は、松戸駅へご連絡ください (047-362-2014)
 ※2は、くぬぎ山駅へご連絡ください (047-443-8268)
 ※3は、新鎌ヶ谷駅へご連絡ください (047-446-5311)
 ※4は、北習志野駅へご連絡ください (047-465-3020)
 ※5は、新津田沼駅へご連絡ください (047-475-1171)

駅名	エレベーター	エスカレーター	スロープ	車いす対応型トイレ	AED	多目的シート	ベビーカー(男子トイレ)	ベビーカー(女子トイレ)	ベビーカー(女子トイレ)
松戸	○	○	—	○	○	○	—	○	—
上本郷	○	○	—	○	○	○	—	—	—
松戸新田	—	—	○	○	○	○	—	—	—
みのり台	—	—	○	○	○	○	—	○	—
八柱	○	○	—	○	○	○	○	○	○
常盤平	○	○	—	○	○	—	—	—	○
五香	○	○	—	○	○	○	—	—	—
元山	○	○	—	○	○	○	—	○	—
くぬぎ山	○	—	—	○	○	○	—	○	—
北初富	○	○	—	○	○	○	○	○	—
新鎌ヶ谷	○	○	—	○	○	○	○	○	—
初富	○	○	—	○	○	○	○	○	—
鎌ヶ谷大仏	○	○	—	○	○	○	—	○	—
二和向台	○	○	○	○	○	—	—	○	—
三咲	○	○	—	○	○	○	—	○	—
滝不動	○	○	—	○	○	○	○	○	—
高根公団	○	○	—	○	○	○	○	○	—
高根木戸	○	○	—	○	○	○	—	○	—
北習志野	○	○	—	○	○	○	○	○	—
習志野	○	—	○	○	○	—	—	○	○
薬園台	○	○	—	○	○	—	—	○	○
前原	—	—	○	○	○	○	○	○	—
新津田沼	○	○	—	○	○	○	—	○	○
京成津田沼	○	○	—	○	○	○	○	○	—

駅名の変遷

	変更後	変更前	備考
1955.4.1	初富	鎌ヶ谷初富	
1960.2.1	常盤平	金ヶ作	
1961.7.1	藤崎台	新津田沼	1968.5.15 廃止

運賃改定の推移

改定年月日	運賃
1947.12.27	賃率（キロ当たり）50 銭
1948.5.18	// 87 銭 5 厘
1948.7.18	// 1 円 70 銭
1950.4.1	// 2 円 20 銭
1951.12.15	// 3 円 00 銭
1953.3.4	// 3 円 60 銭
1955.4.1	// 3 円 00 銭
1963.2.1	// 3 円 60 銭
1965.9.1	初乗 20 円
1970.2.22	// 30 円
1973.8.18	// 40 円
1975.8.15	// 60 円
1978.9.22	// 80 円
1980.11.21	// 90 円
1982.11.20	// 100 円
1984.11.21	// 110 円
1986.12.1	// 120 円
1989.4.1 (消費税導入)	// 120 円
1995.10.1	// 140 円
1997.4.1 (消費税率変更)	// 140 円
2014.4.1 (消費税率変更)	// ICカード 144 円 きっぷ 150 円
2019.10.1 (消費税率変更)	// ICカード 147 円 きっぷ 150 円
2023.10.1	// ICカード 167 円 きっぷ 170 円

遠隔監視システム (2023年3月31日現在)

導入年月日	被監視駅
2007.12.1	松戸新田駅、前原駅
2010.4.1	習志野駅
2011.6.16	みのり台駅、滝不動駅
2012.6.16	高根木戸駅
2013.8.1	上本郷駅、三咲駅
2019.12.1	北初富駅、初富駅

区間別 開通などの年月日

1947.12.27	新津田沼（初代）～薬園台 開業
1948.8.26	薬園台～滝不動 開業
1949.1.8	滝不動～鎌ヶ谷大仏 開業
1949.10.7	鎌ヶ谷大仏～鎌ヶ谷初富 開業
1953.10.21	改軌 1,067mm → 1,372mm
1953.11.1	京成津田沼～前原 開業
1955.4.21	松戸～初富 開業
1959.8.18	改軌 1,372mm → 1,435mm
1961.8.23	前原～新津田沼（3代目） 開業
1961.11.25	松戸～八柱 複線化
1962.8.21	八柱～五香 複線化
1963.10.26	高根公園～前原 複線化
1964.8.12	鎌ヶ谷大仏～高根公園 複線化
1965.6.29	五香～くぬぎ山 複線化
1968.5.15	前原～新津田沼（4代目） 複線化 ※新津田沼付近ルート変更
1975.2.7	くぬぎ山～鎌ヶ谷大仏 複線化
2017.10.21	くぬぎ山～鎌ヶ谷大仏 下り線高架化
2019.12.1	くぬぎ山～鎌ヶ谷大仏 上り線高架化 ※くぬぎ山～鎌ヶ谷大仏 全線高架化

橋りょう



	名称	実測中心キロ程	完成年月
①	小根本架道橋	24K270.0M	1955年4月
②	南花島架道橋	23K822.6M	1955年3月
③	陣屋前橋りょう	20K700.0M	1989年3月
④	五香橋りょう	17K676.3M	1999年3月
⑤	連続立体交差高架区間	11K373.0M～14K120.6M	2019年12月（完全高架化）
⑥	丸山橋りょう	10K840.0M	1982年4月
⑦	滝台橋りょう	2K065.1M	上り1944年 下り1909年
⑧	藤崎台橋りょう	— 0K373.7M	1973年6月
⑨	総武線乗越橋りょう	— 0K623.2M	不明
⑩	県道架道橋	— 0K643.6M	1972年5月

(2023年3月31日現在)

在籍車両一覧表

合計 156 両

6 連 × 26 = 156 両

★	8802-6	< 8802-5 >	8802-4	< 8802-3 >	8802-2	8802-1	京成 津田沼 沿寄
	8803-6	< 8803-5 >	8803-4	< 8803-3 >	8803-2	8803-1	
	8804-6	< 8804-5 >	8804-4	< 8804-3 >	8804-2	8804-1	
	8805-6	< 8805-5 >	8805-4	< 8805-3 >	8805-2	8805-1	
	8806-6	< 8806-5 >	8806-4	< 8806-3 >	8806-2	8806-1	
	8807-6	< 8807-5 >	8807-4	< 8807-3 >	8807-2	8807-1	
	8808-6	< 8808-5 >	8808-4	< 8808-3 >	8808-2	8808-1	
	8809-6	< 8809-5 >	8809-4	< 8809-3 >	8809-2	8809-1	
	8810-6	< 8810-5 >	8810-4	< 8810-3 >	8810-2	8810-1	
	8811-6	< 8811-5 >	8811-4	< 8811-3 >	8811-2	8811-1	
	8812-6	< 8812-5 >	8812-4	< 8812-3 >	8812-2	8812-1	
	8813-6	< 8813-5 >	8813-4	< 8813-3 >	8813-2	8813-1	
	8814-6	< 8814-5 >	8814-4	< 8814-3 >	8814-2	8814-1	
	8815-6	< 8815-5 >	8815-4	< 8815-3 >	8815-2	8815-1	
	8816-6	< 8816-5 >	8816-4	< 8816-3 >	8816-2	8816-1	
		8918	< 8917 >	8916	< 8913 >	8912	
	8928	< 8927 >	8926	< 8923 >	8922	8921	
	8938	< 8937 >	8936	< 8933 >	8932	8931	
★	N818	< N817 >	N816	N813	< N812 >	N811	
★	N828	< N827 >	N826	N823	< N822 >	N821	
★	N838	< N837 >	N836	N833	< N832 >	N831	
★	N848	< N847 >	N846	N843	< N842 >	N841	
★	N858	< N857 >	N856	N853	< N852 >	N851	
	80016	< 80015 >	80014	80013	< 80012 >	80011	
	80026	< 80025 >	80024	80023	< 80022 >	80021	
	80036	< 80035 >	80034	80033	< 80032 >	80031	

★…京成千葉線乗り入れ対応編成

chapter 3
不動産事業



当社は、1973年竣工の常盤平駅ビルより最初の一步を踏み出し、現在では駅および駅前を中心に、商業施設、スポーツ施設、高齢者施設などを賃貸しているほか、ロードサイド施設の展開も行っています。過去には、土地分譲や戸建て分譲も展開しておりましたが、現在は不動産賃貸業を主として、自社用地の開発や収益物件の購入を行っています。

不動産事業の概況

不動産事業では、住みやすい沿線・選ばれる沿線を目指して鉄道・バスとの相乗効果を踏まえた事業展開を行っており、駅と機能的に結合した商業施設や利便性の高い立地特性を生かした駅前型の物件はもとより、ロードサイド型の物件開発にも力を入れています。

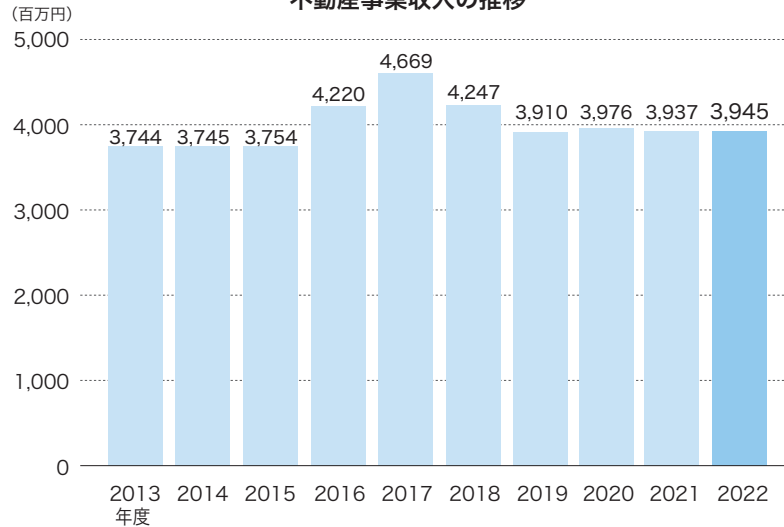
近年は、駅前型として「三咲駅前店舗（歯科診療所／2016年）」および「高根公団第2ビル（店舗・事務所／2022年）」、ロードサイド型として「三矢小台建物（飲食店／2018年）」および「習志野4丁目建物（事務所・営業所／2019年）」、「吉橋85街区建物（調剤薬局ほか／

2021年）」などの物件を賃貸しています。

また、新たな収益源確保への取り組みとして、2017年と2020年に複合用途賃貸ビルを各1棟、2023年に賃貸マンションを1棟取得したほか、ロードサイド店舗2件の底地を取得・賃貸しています。

今後の取り組みとしては、新津田沼駅周辺や新鎌ヶ谷駅周辺保有土地について、利便性向上と周辺環境に調和したまちづくりを推進していくとともに、高経年物件のリニューアルやスクラップ・アンド・ビルドを進めていきます。

不動産事業収入の推移



主な賃貸施設一覧

(2023年7月1日現在)

施設名	所在地	階層	延床面積(m ²)	主要賃貸先	竣工年月日
常盤駅ビル	松戸市常盤平	地上14階 地下1階 (当社2階まで)	7,242.88 (1,745.16)	(株)ハイデイ日高(飲食店)、 (株)トップス(美容室)、 日本マクドナルドホールディングス(株) (飲食店)	1973.8.20
高根公団駅ビル	船橋市高根台	地上3階	2,103.70	(株)セリア(100円ショップ)、 (株)三喜(衣料品店)	1976.7.2
津田沼12番街ビル	習志野市津田沼	地上8階 地下2階	35,807.66	(株)イトーヨーカ堂	1977.10.20
津田沼14番街ビル	習志野市津田沼	地上8階 地下1階	15,311.48	(株)ファーストリテイリング	1978.1.31
新津田沼駐車場ビル	習志野市津田沼	地上5階 地下2階	18,851.70	(株)イトーヨーカ堂 (駐車場)	1979.5.31
五香駅東口ビル	松戸市金ヶ作	地上2階	1,731.83	コナミスポーツ(株)	1980.11.30
昭第三ビル	習志野市津田沼	地上9階 地下1階	2,108.26	東京地下鉄(株)(ロボットプログラミング教室)、 (株)ハイデイ日高(中華食堂)	1981.1.23
常盤駅北口ビル	松戸市常盤平	地上1階 (一部3階)	1,729.42	(株)ダンロップスポーツウエルネス	1982.5.25
津田沼19番街ビル	習志野市津田沼	地上2階 (一部中3階付)	5,560.53	コナミスポーツ(株)	1984.7.13
八柱駅第1ビル	松戸市日暮	地上3階	2,484.58	(医)愛育会(歯科)、 (株)興学社(学習塾)	1985.2.20
五香駅西口ビル	松戸市常盤平	地上4階	2,892.11	(株)千葉銀行、 (株)セブン-イレブン・ジャパン	1985.7.1
鎌ヶ谷大仏駅ビル	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷	地上4階	2,227.50	山崎製パン(株)、 (株)カルチャー(カルチャー教室)	1985.8.31
アクシスビル	千葉市稲毛区	地上5階	706.43	ファーストキッチン(株)(飲食店)、 エイブル(株)(事務所)	1989.3.11
上本郷駅ビル	松戸市上本郷	地上3階	2,414.84	(医)慈高会(歯科)、 社会福祉法人菊光会(保育施設)	1990.4.27
明治レジデンス	船橋市薬円台	地上6階	2,293.44	賃貸マンション	1991.10.1
五香駅西口第2ビル	松戸市常盤平	地上2階	5,145.80	コナミスポーツ(株)	2000.5.25
薬園台駅ビル	船橋市薬円台	地上3階	2,997.05	(株)千葉銀行、山崎製パン(株)	2000.7.28
元山駅ビル	松戸市五香南	地上3階	1,383.94	社会福祉法人新和福祉会 (小規模保育施設)	2001.10.31
八柱駅第2ビル	松戸市日暮	地上7階 (一部地下1階)	8,399.90	(株)セブン-イレブン・ジャパン、 (医)松園会(泌尿器科)	2003.10.31
五香駅西口第3ビル	松戸市常盤平	地上5階	941.63	(株)ゼンショー(飲食店)、 (株)鳥貴族(焼き鳥専門店)	2004.4.14
北習志野駅前ビル	船橋市習志野台	地上3階 地下1階	5,534.00	プラス(株)(書店)、 (医)成春会(診療所)	2009.1.27
北習志野駅ビル エキタきたなら	船橋市習志野台	地上3階	1,889.38	(株)ハイデイ日高(中華食堂)、 (医)スワン会(歯科)	2012.7.17
薬園台駅前ビル	船橋市滝台	地上4階	3,370.73	(株)ベストライフ(住宅型有料老人ホーム)	2015.1.28
吉橋85街区建物	八千代市緑が丘西	地上3階	1,260.14	(株)OA総研	2021.6.30

駅ビル・駅前ビル



●常盤平駅ビル

1973年竣工。地下1階から2階までが当社駅ビルで3階から14階はUR賃貸住宅となっています。



●津田沼12番街ビル

1977年竣工。2階公開空地で新津田沼駅と連絡した大型物件です。(株)イトーヨーカ堂に賃貸しており、「イトーヨーカドー津田沼店」として営業しています。



●新津田沼駐車場ビル

1979年に竣工した駐車場ビル（収容894台）です。本物件と「津田沼12番街ビル」「津田沼14番街ビル」および新津田沼駅は連絡歩道橋と公開空地で機能的に連絡しています。



●八柱駅第1・第2ビル

第1ビル（手前）は1985年に、第2ビル（奥）は2003年に竣工しました。3階で八柱駅と連絡しており、物販店、飲食店、理美容、学習塾、診療所などが入居しています。



●高根公団駅ビル

1976年竣工。3階で高根公団駅と連絡しており衣料品店や100円ショップなどが入居しています。



●津田沼14番街ビル

1978年竣工。津田沼12番街ビルとともに当社の不動産事業躍進の基盤となった建物です。現在は(株)ファーストリテイリングに賃貸しており、「ミーナ津田沼」として営業しています。



●昭和第三ビル

収益源確保の取り組みとして、2017年10月に取得しました。現在、飲食店などが入居しています。



●五香駅西口ビル

1985年に竣工した店舗・事務所ビルです。3階で五香駅と連絡しており、銀行、物販店、飲食店、学習塾などが入居しています。

駅ビル・駅前ビル



● アクシスビル

収益源確保の取り組みとして2020年3月に取得しました。現在、飲食店などが入居しています。



● 元山駅ビル

2001年竣工。3階で元山駅と連絡しており、保育所などが入居しています。



● 薬園台駅ビル

2000年、薬園台駅の移転・橋上化に併せて駅舎と一体で新築した駅ビルです。銀行、物販店、診療所、保育所などが入居しています。



● 五香駅西口第3ビル

2004年竣工。飲食店や居酒屋などが入居しています。



● 北習志野駅前ビル

2009年竣工。北習志野駅・地元商店街とペデストリアンデッキで結ばれた複合商業ビルです。物販店、飲食店、診療所などが入居しています。



● 北習志野駅ビル（エキタきたなら）

2012年竣工。北習志野駅の隣接地と軌道上空を活用した物件です。物販店、飲食店、診療所、保育所などが入居しています。「エキタ」とは「駅」+「来た」「楽しい」からの造語で、気軽に寄れる場所をイメージした愛称です。

高齢者施設



● 薬園台駅前ビル

2015年に竣工した当社初の高齢者施設です。(株)ベストライフに賃貸しており、「ベストライフ船橋薬園台」として営業しています。

高架下店舗



● 新鎌ヶ谷駅コンコース店舗

2019年竣工。新京成リテーリングネット(株)に賃貸しており「セブン-イレブン 新京成 ST 新鎌ヶ谷店」として営業しています。

主な賃貸施設

スポーツ施設



●五香駅東口ビル

1980年竣工。コナミスポーツ(株)に賃貸しており、「コナミスポーツジュニアスクール五香」として営業しています。



●津田沼 19 番街ビル

1984年竣工。コナミスポーツ(株)に賃貸しており、「コナミスポーツクラブ津田沼」として営業しています。



●常盤平駅北口ビル

1982年竣工。常盤平駅に隣接したインドアテニスコートです。(株)ダンロップスポーツウェルネスに賃貸しており、「ダンロップテニススクール常盤平」として営業しています。



●五香駅西口第 2 ビル

2000年竣工。コナミスポーツ(株)に賃貸しており、「コナミスポーツクラブ五香」として営業しています。

ロードサイド施設



●常盤平 6 丁目賃貸借建物

1999年竣工。ウエルシア薬局(株)に賃貸しており、「ウエルシア松戸牧の原店」として営業しています。



●西志津建物

2017年竣工。(株)ケー・アンド・アイに賃貸しており、「天丼てんや 志津店」として営業しています。



●三矢小台建物

2018年竣工。(株)ウエストに賃貸しており、「生そばあずま 矢切店」として営業しています。



●習志野 4 丁目建物

2019年竣工。京成タクシー習志野(株)に賃貸しており、本社および営業所として営業しています。



●吉橋 85 街区建物

2021年竣工。(株)OA 総研に賃貸しており、調剤薬局などが入居しています。

賃貸マンション



●明治レジデンス

収益源確保の取り組みとして、2023年5月に取得しました。6階建・全44戸です。



chapter 4

新京成グループ



主な業種

会社名

バス事業

船橋新京成バス株式会社

松戸新京成バス株式会社

コンビニ業

新京成リテーリングネット株式会社

バス事業

新京成電鉄直営のバス事業は、1949年1月新京成線鉄道未開業区間の先行輸送機関として発足し、鎌ヶ谷大仏～松戸間の営業を開始し、沿線の発展とともに成長しました。新規鉄道路線開通など経営環境の変化に対応するため、2003年4月28日付で船橋新京成バス、習志野新京成バス、松戸新京成バスを設立し、同年10月1日に当社のバス事業を各子会社に営業譲渡しました。その後、事業の効率化による運営基盤強化のため、2014年4月16日より船橋新京成バスが習志野新京成バスを吸収合併しました。

現在ではお客さまのニーズに即応できる地域密着型の事業形態を維持しながら、新京成線沿線を中心に路線バス網を展開しているほか、高速バス、貸切・

特定バスなども運行しています。

2022年度の事業実績については、一般乗合事業において環境や高齢者などに配慮した車両へと14両代替したほか、18年ぶりに新京成グループ統一のデザインバスに一新しました。また、ドライブレコーダーおよびデジタルタコグラフを更新し、安全管理体制の強化を図りました。さらには、利用実態に即したダイヤ改正を実施したほか、船橋新京成バスでは船橋市北部の路線延伸を行いアクセス向上に努めました。松戸新京成バスでは前期に続きデジタルスタンプラリー第2弾を開催し、沿線エリアの魅力向上に努めたほか、金額式IC定期券の発売および6カ月定期券の設定を新たに開始しました。

2023年7月1日現在

会社名	船橋新京成バス株式会社	松戸新京成バス株式会社
所在地	〒273-0105 千葉県鎌ヶ谷市 鎌ヶ谷一丁目8番2号	〒270-2221 千葉県松戸市 紙敷96番地の36
電話番号	047-443-2035	047-387-0388
FAX番号	047-446-5966	047-389-8624
代表取締役社長	原 一彰	戸澤 健太郎
従業員数(嘱託等含む)*	305人	209人
営業キロ	206.12km	152.95km
路線数	27路線	16路線
総車両数	156両	107両
乗合バス車両数	143両	102両
貸切バス車両数	5両	5両
特定バス車両数	8両	0両
1日平均実車走行キロ*	11,979km	8,046km
1日平均輸送人員*	37,169人	28,567人
1日平均旅客運送収入*	6,410千円	4,583千円
主要ターミナル	船橋駅、津田沼駅、北習志野駅	松戸駅、北小金駅、八柱駅

*2022年度実績

開
社
概
要新
京
成
の
取
組
み鉄
道
事
業不
動
産
事
業新
京
成
グ
ル
ー
プ年
表

① 路線バス

新京成グループのバス2社では、新規路線の開設・既存路線網の再編成を進めるとともに、適宜鉄道の終車後などの時間帯に運行する深夜バス・早朝バスの設定を図りながら、船橋68系統、松戸56系統、計124系統の路線バスを運行しています。



新京成グループデザインバス



船橋新京成バス 鎌ヶ谷営業所 路線バス用車両



船橋新京成バス 習志野営業所 路線バス用車両



松戸新京成バス 路線バス用車両

② コミュニティバスなど

新京成グループのバス2社では、70年以上路線バスを運行してきた実績をご評価いただき、自治体の運行するコミュニティバスの運行を受託しています。

船橋新京成バスは白井市コミュニティバス「ナッシー号」、鎌ヶ谷市コミュニティバス「ききょう号」、松戸新京成バスでは「松戸市ゆめいろバス」の運行をそれぞれ受託しています。

このほか、船橋新京成バスでは船橋市八木が谷地区、同丸山地区での路線バスの実証運行を受託しています。



松戸新京成バス コミュニティバス用車両

③ 高速バス

松戸新京成バスでは、東京外環自動車道千葉県区間の開通に合わせ、2018年9月から新松戸駅・松戸駅～羽田空港を結ぶ高速バスを運行しています。



高速バス用車両

④ 貸切バス・特定バス

新京成グループのバス2社では、乗合バスのほか、地域や企業のお客さまのニーズに対応した貸切バス・特定バスを運行しています。

沿線事業所や専用の通勤バス、イベント会場などへのシャトルバス、部活やサークルなどの合宿の送迎、校外学習、仲間内のご旅行など、幅広いニーズにお応えするため、観光タイプから路線タイプ、マイクロバスまで、さまざまな種類の車両をご用意しています。

お問い合わせ
船橋新京成バス株式会社
電話：047-443-2098
松戸新京成バス株式会社
電話：047-387-0388



貸切用車両

貸切バス事業者安全性評価認定制度

貸切バス事業において輸送の安全に対する社会的要請が強まっているなか、安定した受注を目指すため、新京成グループのバス2社では2013年に日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」一ツ星の認定を取得、2017年度には松戸新京成バスにおいて三ツ星の認定を取得し2021年度には船橋新京成バスにおいても三ツ星の認定を取得しました。これからも引き続き、安全輸送のより一層の強化を図ってまいります。



安全性評価認定マーク

普通旅客運賃

2023年7月1日改定

基準賃率 44円00銭

初乗運賃	船橋新京成バス	
	(大人) IC：190円	現金：190円
	(小人) IC：95円	現金：100円
	松戸新京成バス	
	(大人) IC：200円	現金：200円
	(小人) IC：100円	現金：100円

高齢者支援バス

船橋新京成プラチナバス

70歳以上のお客さまを対象にした船橋新京成バスの一般路線バス全線が乗り放題となるお得な定期券です。

※深夜急行バス、コミュニティバス、イオンお買い物バス、イベント輸送バスなどご利用になれません。

松戸新京成プラチナバス

70歳以上のお客さまを対象にした松戸新京成バスの一般路線バス全線が乗り放題となるお得な定期券です。

※高速バス、コミュニティバスはご利用になれません。

ダイヤモンドバス

ご高齢の方について、京成グループのバス会社14社の路線バスが全線乗り放題となる定期券です。

※高速バス、深夜急行バス、コミュニティバス、京成グループ外のバス会社と共同運行している路線などはご利用になれません。

免許返納者割引証

ノーカー・アシスト優待証

70歳以上で運転免許を返納された方について、京成グループのバス会社の路線バスが全線半額の運賃でご利用になれる優待証制度です。

※高速バス、深夜急行バス、コミュニティバス、京成グループ外のバス会社と共同運行している路線などではご利用になれません。

学生支援定期券

船橋新京成 BUS 通乗

小学生から大学生、専門学校生などバス通学をされている方について、船橋新京成バスの一般路線バス全線が乗り放題となるお得な定期券です。

※深夜急行バス、コミュニティバス、イオンお買い物バス、イベント輸送バスなどご利用になれません。

松戸新京成 BUS 通乗

小学生から大学生、専門学校生などバス通学をされている方について、松戸新京成バスの一般路線バス全線が乗り放題となるお得な定期券です。

※高速バス、コミュニティバスなどはご利用になれません。

Bus-Vision

2012年2月からお客さまのスマートフォンなどから運行状況を確認できるバスロケーションシステム・Bus-Visionのサービスを開始しました。



Bus-VisionのQRコード

定期旅客運賃

金額式 IC 定期券（船橋新京成バス・松戸新京成バス）（2023年7月1日改定）（単位：円）

現金運賃	通勤定期			通学定期		
	1カ月	3カ月	6カ月	1カ月	3カ月	6カ月
190	8,550	24,370	47,710	6,840	19,490	38,170
200	9,000	25,650	50,220	7,200	20,520	40,180
210	9,450	26,930	52,730	7,560	21,550	42,180
220	9,900	28,220	55,240	7,920	22,570	44,190
230	10,350	29,500	57,750	8,280	23,600	46,200
240	10,800	30,780	60,260	8,640	24,620	48,210
250	11,250	32,060	62,780	9,000	25,650	50,220
260	11,700	33,350	65,290	9,360	26,680	52,230
270	12,150	34,630	67,800	9,720	27,700	54,240
280	12,600	35,910	70,310	10,080	28,730	56,250
290	13,050	37,190	72,820	10,440	29,750	58,260
300	13,500	38,480	75,330	10,800	30,780	60,260
310	13,950	39,760	77,840	11,160	31,810	62,270
320	14,400	41,040	80,350	11,520	32,830	64,280
330	14,850	42,320	82,860	11,880	33,860	66,290
340	15,300	43,610	85,370	12,240	34,880	68,300
350	15,750	44,890	87,890	12,600	35,910	70,310
360	16,200	46,170	90,400	12,960	36,940	72,320
370	16,650	47,450	92,910	13,320	37,960	74,330

(以下省略)

定期券発売日

- ▶ **新規ご購入**
使用開始日の2週間前から発売します。
- ▶ **継続のご購入**
期限満了日の2週間前から発売します。

▶ 通学定期券

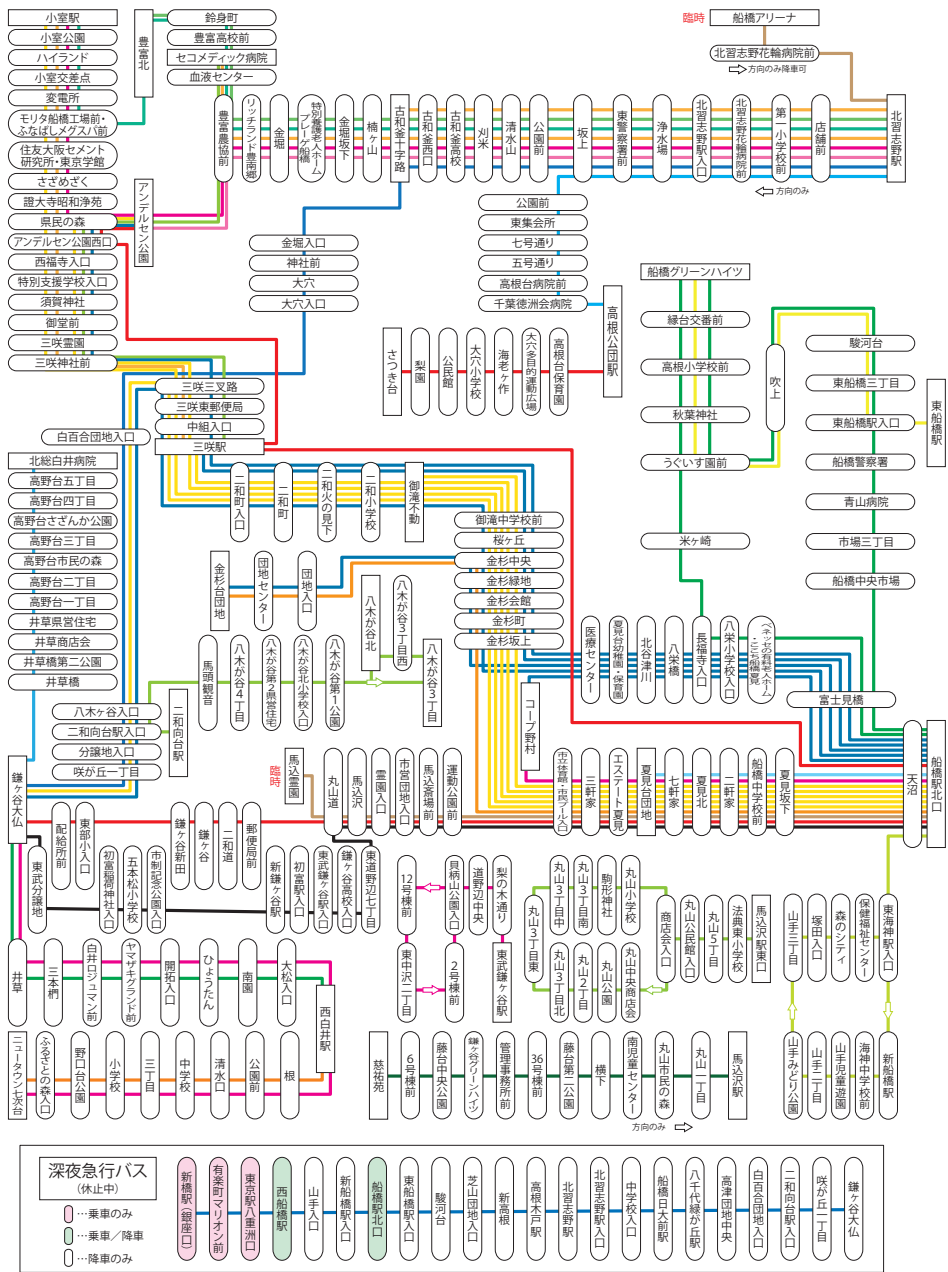
新規購入時、新学年度（毎年4月）は通学証明書または身分証明書（学生証）が必要です。また、継続購入時は2週間前から発売します。期限切れの場合は必要書類をお持ちください。

バス事業

船橋新京成バス鎌ヶ谷営業所路線図

(2023年7月1日現在)

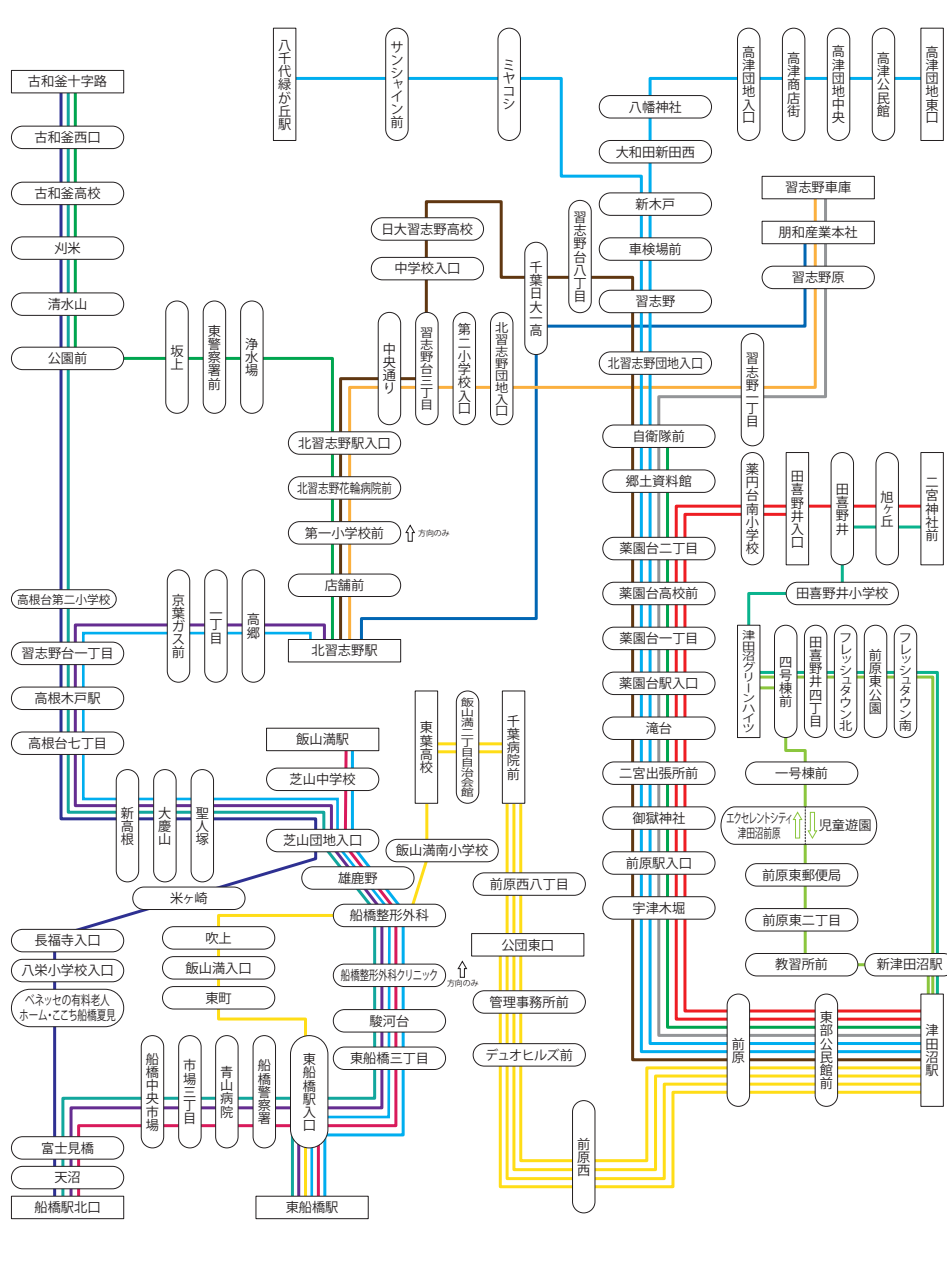
□ ……起・終点のバス停 ○ ……途中のバス停



船橋新京成バス習志野営業所路線図

(2023年7月1日現在)

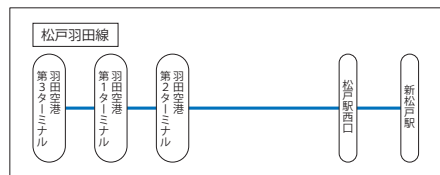
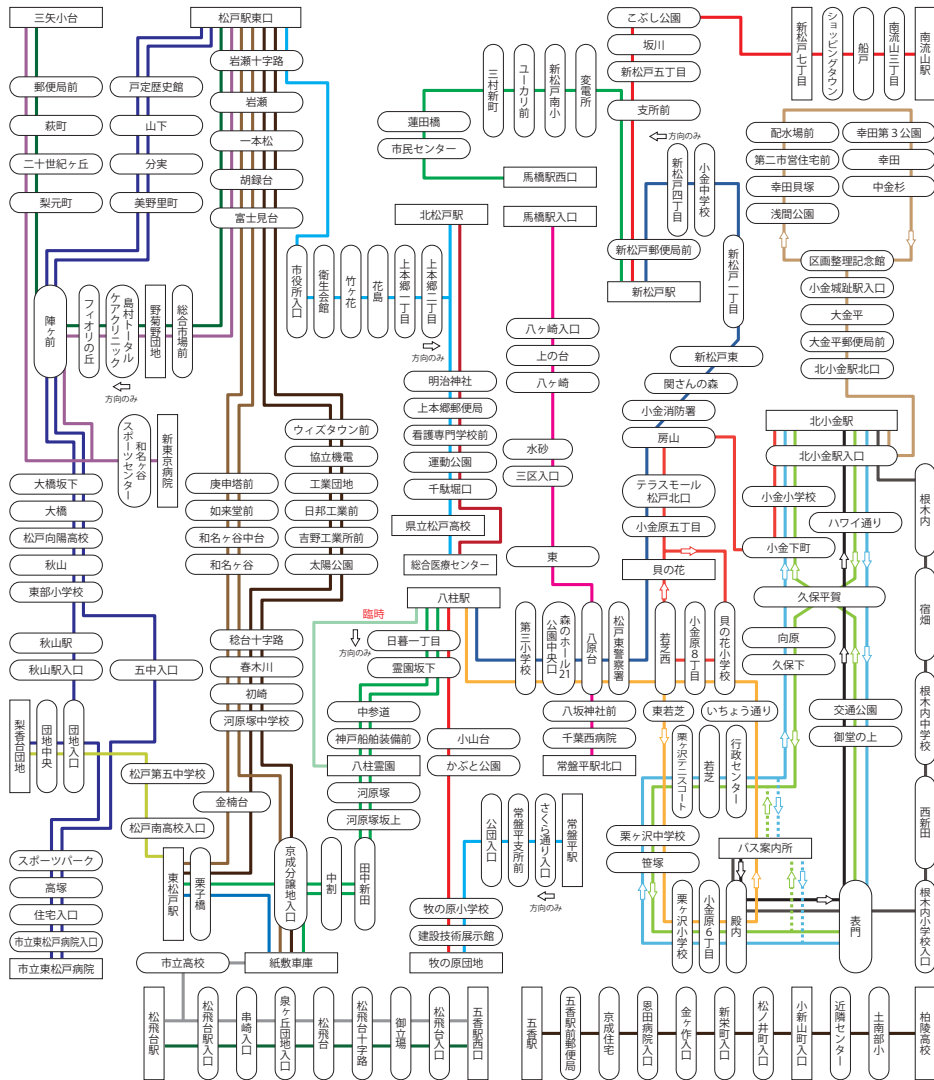
□ ……起・終点のバス停 ○ ……途中のバス停



松戸新京成バス路線図

(2023年7月1日現在)

□ ……起・終点のバス停 ○ ……途中のバス停



営業所・案内所・定期券発売所一覧

※定期券の購入は、該当する路線の営業所の定期券発売所にてお問い合わせください。(松戸新京成バス松戸営業所を除く)

船橋新京成バス

鎌ヶ谷営業所	所在地	〒 273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 1-8-2
	TEL	047-443-2035
	最寄りバス停	鎌ヶ谷大仏
	定期発売時間	13:00 ~ 17:45 (毎日)
習志野営業所	所在地	〒 274-0071 船橋市習志野 4-16-20
	TEL	047-466-0525
	最寄りバス停	習志野車庫
	定期発売時間	9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00 (毎日)
船橋駅北口バス案内所	所在地	〒 273-0005 船橋市本町 7-2
	最寄りバス停	船橋駅北口
	定期発売時間	平日 7:30 ~ 20:00、土休日 8:30 ~ 12:30 (年末年始を除く)
津田沼駅発売所	所在地	〒 275-0016 習志野市津田沼 1-1
	最寄りバス停	津田沼駅
	定期発売時間	平日 13:00 ~ 20:00、土曜 15:00 ~ 19:00
北習志野発売所	所在地	〒 274-0063 船橋市習志野台 3-1
	最寄りバス停	北習志野駅
	定期発売時間	平日 15:00 ~ 20:00、土曜 9:00 ~ 13:00

松戸新京成バス

松戸営業所	所在地	〒 270-2221 松戸市紙敷 96-36
	TEL	047-387-0388
	最寄りバス停	紙敷車庫
小金原バス案内所	所在地	〒 270-0021 松戸市小金原 6-3
	TEL	047-341-3069
	最寄りバス停	バス案内所
	定期発売時間	9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 19:00 (年末年始は時間変更あり)
松戸駅東口発売所	所在地	〒 271-0092 松戸市松戸 1239
	最寄りバス停	松戸駅東口
	定期発売時間	平日 15:00 ~ 20:00、土休日 9:00 ~ 13:00 (年末年始を除く)

新京成リテーリングネット株式会社

所在地：〒274-0065 千葉県船橋市高根台一丁目6番2号
 TEL：047-467-9081
 FAX：047-465-1999

設立：1974年3月20日
 代表取締役社長：石川 雄介
 従業員：21人

セブン-イレブン店舗の運営

新京成線の駅構内セブン-イレブン11店舗とロードサイド店舗1店舗を運営しています。セブン-イレブン店舗では、おにぎりやサンドイッチ、お総菜から日用品まで幅広い商品がご購入いただけるほか、公共料金のお支払いやATMなどのサービスもご利用いただけます。



北習志野店（駅構内店舗）



浦安舞浜店（ロードサイド店舗）

セブン-イレブン店舗一覧

店舗名	電話番号	開店日
新京成ST新津田沼店	047-477-3703	2013.12.5
新京成ST新津田沼改札内店	047-471-0909	2014.4.8
新京成ST北習志野店	047-463-1838	2019.12.10
新京成ST高根公園店	047-467-7310	2015.8.31
新京成ST三咲店	047-449-7325	2014.9.4
新京成ST鎌ヶ谷大仏店	047-442-7725	2017.7.7
新京成ST新鎌ヶ谷店	047-441-2700	2019.6.16
新京成ST元山店	047-385-1526	2014.5.15
新京成ST五香店	047-389-5337	2014.6.12
新京成ST常盤平店	047-386-0091	2014.6.12
新京成ST八柱北口店	047-311-5226	2016.7.27
浦安舞浜店	047-355-3755	2023.5.17

臨時売店スペースの提供

駅構内の指定の場所に、臨時に出店することができます。各種キャンペーンなどの販売促進、洋菓子や服飾・雑貨品などの物品販売にご利用いただけます。

駅	使用場所
松戸	改札横
八柱	改札内
常盤平	改札外
五香	改札内
元山	改札外
新鎌ヶ谷	改札外 改札内
鎌ヶ谷大仏	改札外
高根公園	改札外
北習志野	改札内
新津田沼	改札外

農産物廃棄ロスの支援事業

農産物廃棄ロスの削減を目的に、農産物の加工品の開発やセブン-イレブン店舗での販売、臨時売店スペースを使用した新京成マルシェの開催など、農産物の販路拡大に協力しています。



農産物を使用した加工品



新京成マルシェ

自動販売機、コインロッカーの設置

駅利用者の利便性向上を目的として、新京成線の駅に自動販売機とコインロッカーを設置しています。



宅配便ロッカーの設置

新京成沿線にお住まいの方の利便性向上や環境配慮を目的として宅配便ロッカーを新京成線の10駅に設置しています。宅配便ロッカーでは、宅配便の荷物をご都合のいい時間に、ご都合のいい場所で受け取ることが可能です。



オープン型宅配便ロッカー（PUDOステーション）

宅配便ロッカー設置場所一覧

設置場所
新津田沼駅
薬園台駅
習志野駅
北習志野駅
高根公園駅
三咲駅
くぬぎ山駅
元山駅
五香駅
八柱駅

1946(昭和21)年

- 6.15 津田沼～松戸駅間地方鉄道敷設免許申請
- 8.8 地方鉄道敷設免許
- 10.18 創立総会 於東京 京成電鉄株式会社
商号 新京成電鉄株式会社
本社 東京都下谷区五条町3番地
資本金 1,000万円
決算期 毎年6月、12月
取締役社長 吉田秀彌

10.23 会社設立登記

1947(昭和22)年

- 12.27 新津田沼(初代)～薬園台駅間2.5キロ単線営業開始

1948(昭和23)年

- 3.26 本社を千葉県千葉郡二宮町前原230番地へ移転
- 7.23 定款変更(事業目的:自動車事業、不動産事業を追加)
- 8.26 薬園台～滝不動駅間4.1キロ単線営業開始
- 10.8 資本金2,000万円(増資1,000万円)
習志野駅、高根木戸駅開業

12.13 前原駅開業

1949(昭和24)年

- 1.8 滝不動～鎌ヶ谷大仏駅間3.1キロ単線営業開始
- 1.21 バス事業営業開始(鎌ヶ谷大仏～松戸間16.2キロ)
鎌ヶ谷バス営業所新設
- 3.16 二和向台駅開業
- 10.7 鎌ヶ谷大仏～鎌ヶ谷初富駅間2.1キロ単線営業開始

1950(昭和25)年

- 7.29 定款変更(決算期:毎年3月、9月に変更)

1953(昭和28)年

- 5.25 資本金6,000万円(増資4,000万円)
- 8.1 路線バス営業開始(夏見線、船橋市内循環線)
- 8.1 本社所在地の住居表示変更(新)千葉県船橋市前原230番地

- 8.17 株式会社頭公開
- 10.21 京成線連絡のための改軌工事(軌間1,067ミリから1,372ミリに変更)
- 11.1 新津田沼駅移転(二代目)
前原～京成津田沼駅間2.3キロ単線営業開始
京成線と連絡運輸開始

1955(昭和30)年

- 1.1 本社所在地の住居表示変更(新)千葉県船橋市前原町2丁目230番地
- 2.8 宅建物取引業の登録
- 3.1 五香変電所新設
- 4.1 鎌ヶ谷初富駅移転に伴い初富駅に名称変更
- 4.20 全線単線開通記念式典
- 4.21 初富～松戸駅間13.3キロ単線営業開始(全線単線開通)
国鉄(現JR)線と連絡運輸開始
京成電鉄千葉線へ乗り入れ開始(松戸～京成千葉駅間直通運転)9.1廃止
- 7.7 資本金1億2,000万円(増資6,000万円)
- 11.16 取締役社長吉田秀彌死去
専務取締役北條一郎が代表取締役に就任
- 12.20 取締役会長に大山秀雄就任
取締役社長に北條一郎就任

1957(昭和32)年

- 10.15 京成津田沼駅5番線の使用を開始

1959(昭和34)年

- 8.18 改軌工事(軌間1,372ミリから1,435ミリに変更)
- 10.15 国鉄(現JR)船橋駅北口バス案内所新設

1960(昭和35)年

- 2.1 金ヶ作駅を常盤平駅に名称変更

1961(昭和36)年

- 7.1 新津田沼駅を藤崎台駅に名称変更
- 8.1 高根公園駅開業
- 8.23 新津田沼駅移転(三代目)
前原～新津田沼駅間1.2キロ単線営業開始

- 10.2 東京証券取引所へ株式上場(第二部)
- 11.25 松戸～八柱駅間3.8キロ複線営業開始
- 12.15 習志野バス操車場新設

1962(昭和37)年

- 7.- 7～8月の休日に直通電車「九十九里号」運行(松戸～京成千葉駅間直通運転)1967年まで実施
- 8.21 八柱～五香駅間3.6キロ複線営業開始
- 10.16 初のワンマンバス運行開始(常盤平線)

1963(昭和38)年

- 10.26 前原～高根公園駅間4.4キロ複線営業開始

1964(昭和39)年

- 8.12 高根公園～鎌ヶ谷大仏駅間4.1キロ複線営業開始
- 11.21 取締役社長に福田郁次郎就任
- 12.1 乗車券自動発売機(券売機)をみのり台・五香・高根木戸・新津田沼各駅に設置

1965(昭和40)年

- 2.13 二和変電所新設
- 6.29 五香～くぬぎ山駅間2.2キロ複線営業開始

1966(昭和41)年

- 4.11 北習志野駅開業(初の橋上化)
- 7.16 五香バス操車場新設

1967(昭和42)年

- 4.1 輸送力増強5カ年計画
- 11.15 本社を千葉県習志野市津田沼1丁目510番地へ移転

1968(昭和43)年

- 5.15 新津田沼駅移転(四代目・現在地)、藤崎台駅廃止
新津田沼～前原駅間1.4キロ複線営業開始
- 8.11 五香駅橋上化
- 9.22 北習志野バス操車場新設
- 12.1 列車一部6両編成運転開始

1969(昭和44)年

- 8.20 小金原バス操車場新設
- 12.18 前原変電所新設

1970(昭和45)年

- 11.28 株式初配当実施(年7分)

1971(昭和46)年

- 2.6 新京成タクシー(株)設立
- 3.30 800形新造車両第1次車4両導入
- 5.28 株式配当金増配(年8分)

- 9.12 マンション分譲営業開始(薬園台ハイッ)
- 10.19 上本郷変電所新設
- 12.20 松戸駅橋上化

1972(昭和47)年

- 2.5 800形新造車両第2次車6両導入
- 4.1 資本金2億4,000万円(増資1億2,000万円)
輸送力増強3カ年計画
- 11.28 取締役会長に川崎千春就任

1973(昭和48)年

- 3.26 800形新造車両第3次車8両導入
- 8.20 常盤平駅ビル竣工
- 12.7 常盤平駅橋上化

1974(昭和49)年

- 1.16 800形新造車両第4次車8両導入
- 3.16 資本金5億円(増資2億6,000万円)
- 3.20 下総緑地(株)設立
- 12.27 深夜バス運行を開始(金杉台線)

1975(昭和50)年

- 2.7 くぬぎ山～鎌ヶ谷大仏駅間5.8キロ複線営業開始(松戸～新津田沼駅間複線)
- 3.30 800形新造車両第5次車6両導入
- 5.29 定款変更(決算期:年1回3月に変更)
- 8.27 くぬぎ山駅橋上化
- 9.17 袖ヶ浦実業(株)設立
- 10.30 くぬぎ山車両基地竣工
- 11.1 五香車両基地及び乗務区をくぬぎ山に移転
全ダイヤ6両編成運転開始
- 12.1 800形新造車両第6次車4両導入

1976(昭和51)年

- 7.1 高根公園駅橋上化
- 7.2 高根公園駅ビル竣工
- 12.1 駅エスカレーターの導入

1977(昭和52)年

- 3.31 芝山バス操車場新設
- 4.1 資本金7億5,000万円(増資2億5,000万円)
- 4.2 松戸駅ビル出改札所(駅ビル北口)委託により業務開始
- 6.24 定款変更(事業目的:駐車場の経営を追加)
- 8.2 本社新社屋竣工
- 8.8 本社を千葉県鎌ヶ谷市初富16番の16に移転
- 9.4 新津田沼駅橋上化

- 10.20 津田沼12番街ビル竣工
- 1978(昭和53)年**
 - 1.31 津田沼14番街ビル竣工
 - 2.1 新京成電鉄株式会社「30年史」発行
- 10.2 国鉄(現JR)武蔵野線(新松戸～西船橋駅間)営業開始
- 11.15 8000形新造車両第1次車6両導入
- 12.25 社内報創刊号発行
- 1979(昭和54)年**
 - 1.16 新京成車輛工業(株)設立
 - 3.7 自動列車停止装置(ATIS)使用開始
 - 3.9 北総開発鉄道(現:北総鉄道)営業開始・連絡運輸開始(松戸～小室駅間相互直通運転)
 - 4.5 新津田沼駐車場(株)設立
くぬぎ山車両検修場竣工
 - 5.16 八柱駅橋上化
 - 5.31 新津田沼駐車場ビル竣工
 - 7.25 船橋バス(株)設立
- 11.29 8000形新造車両第2次車6両導入
- 1980(昭和55)年**
 - 2.1 東習志野バス操車場営業開始(習志野操車場及び北習志野操車場廃止)
- 3.15 松戸バス営業所営業開始(五香操車場廃止)
- 3.19 高根木戸駅前店舗竣工
- 11.30 五香駅東口ビル竣工
- 1981(昭和56)年**
 - 1.20 習志野駅前店舗1号店竣工
 - 3.16 前原駅跨線橋化
 - 3.31 松戸新田駅跨線橋化
 - 6.22 8000形新造車両第3次車6両導入
 - 7.1 元山駅橋上化
 - 8.11 下総緑地(株)を下総興業(株)に変更
 - 12.15 株式配当金増配(年9分)
- 1982(昭和57)年**
 - 3.29 冷房装置及び大型方向幕取付けバス導入
 - 3.31 くぬぎ山車両基地拡張
 - 5.25 常盤平駅北口ビル竣工
 - 6.1 資本金10億円(増資2億5,000万円)
 - 7.13 8000形新造車両第4次車6両導入
 - 10.1 8両編成運転開始
 - 10.6 みのり台駅跨線橋化
- 1983(昭和58)年**
 - 3.17 バスロケーションシステム導入(船橋駅北口)
 - 5.28 前原駅駅舎新築

- 6.1 列車無線(SR)使用開始
- 6.16 豊富自動車整備工場操業開始
東習志野バス操車場を鎌ヶ谷営業所より分離、習志野営業所となる
- 6.22 8000形新造車両第5次車6両導入
- 12.15 株式配当金増配(年1割)
- 1984(昭和59)年**
 - 3.4 習志野駅駅舎新築及び跨線橋化
 - 3.17 8000形新造車両第6次車6両導入
 - 3.19 住宅・都市整備公団線(現:北総鉄道)営業開始・連絡運輸開始(松戸～千葉ニュータウン中央駅間三者相互直通運転)
 - 4.1 高根木戸駅橋上化
 - 5.16 資本金10億3,000万円(増資3,000万円)
 - 7.13 津田沼19番街ビル竣工
 - 9.9 二和向台駅駅舎新築及び跨線橋化
 - 11.5 本社所在地の住居表示変更(新)千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号
- 1985(昭和60)年**
 - 1.18 下総興業(株)が袖ヶ浦実業(株)を吸収合併
 - 1.24 8000形新造車両第7次車6両導入
 - 2.1 会社要覧創刊号発行「85年度版」
 - 2.20 八柱駅第1ビル竣工
 - 3.20 前原駅前ビル竣工
 - 5.25 資本金14億8,000万円(増資4億5,000万円)
 - 5.27 新京成タクシー(株)が新津田沼駐車場(株)を吸収合併
 - 6.11 800形冷房改造第1次車運転開始
 - 6.28 8000形新造車両第8次車6両導入
 - 7.1 五香駅西口ビル竣工
 - 定期券発行機使用開始
 - 7.31 二和向台駅前ビル竣工
 - 8.27 鎌ヶ谷大仏駅橋上化
 - 8.31 鎌ヶ谷大仏駅ビル竣工
 - 9.23 8000形新造車両第9次車6両導入
- 1986(昭和61)年**
 - 1.21 8800形新造車両第1次車8両導入
 - 5.16 800形冷房改造第2次車運転開始
 - 6.26 取締役会長に福田郁次郎就任
取締役社長に徳永勝就任
- 1987(昭和62)年**
 - 2.21 8800形新造車両第2次車8両導入
 - 3.16 電話交換機更新(クロスパー交換機→電子交換機)

- 3.28 8800形新造車両第3次車8両導入
- 4.1 京成津田沼～新津田沼駅間の鉄道施設を京成電鉄から譲受
- 4.5 三咲駅橋上化
自動改札機導入開始(三咲駅)
- 5.23 資本金31億2,200万円(増資16億4,200万円)
- 5.26 800形冷房改造第3次車運転開始
- 6.29 定款変更(事業目的:広告業、旅行業を追加)
- 7.9 8800形新造車両第4次車8両導入
- 10.21 運輸部において国内旅行業営業開始
- 11.1 列車運行管理システム使用開始
- 12.12 8800形新造車両第5次車8両導入
- 1988(昭和63)年**
 - 3.3 8800形新造車両第6次車8両導入
 - 4.1 滝不動駅橋上化
 - 4.4 取締役会長福田郁次郎死去
 - 5.21 800形冷房改造第4次車運転開始
 - 9.26 第1回1号物上担保付転換社債発行(30億円)
 - 10.12 8800形新造車両第7次車8両導入
 - 11.29 800形冷房改造第5次車運転開始
- 1989(平成元年)**
 - 1.31 新デザインバス導入
 - 3.8 8800形新造車両第8次車8両導入
 - 4.4 800形冷房改造第6次車運転開始
 - 6.28 取締役会長に徳永勝就任
取締役社長に細川春雄就任
 - 7.5 上本郷駅橋上化
 - 10.2 バスロケーションシステム導入(津田沼駅)
 - 11.15 8800形新造車両第9次車8両導入
 - 11.19 北初富駅橋上化
 - 11.30 800形(2両)冷房完了(8両編成化)
- 1990(平成2)年**
 - 3.14 8800形新造車両第10次車8両導入
 - 4.16 船橋バス営業所新社屋完成
 - 4.27 上本郷駅ビル竣工
 - 5.26 資本金59億2,017万円(増資27億9,817万円)
 - 6.14 バス冷房化100%達成
 - 6.21 8800形新造車両第11次車8両導入
列車冷房化100%達成
 - 7.29 200形電車の退役
 - 9.1 高圧配電線標準電圧昇圧(3300V→6600V)
 - 11.26 船橋駅北口バスターミナル完成
 - 12.31 資本金59億3,594万円(増資1,577万円)

- 1991(平成3)年**
 - 2.4 習志野駅前店舗2号店竣工
 - 3.31 8800形新造車両第12次車8両導入
北総開発鉄道2期線営業開始(新鎌ヶ谷～京成高砂駅間)
 - 4.1 第1次中期経営計画スタート
 - 6.24 パスワンマン化100%達成
- 1992(平成4)年**
 - 4.28 みのり台駅駅舎改築竣工
 - 4.29 第1回沿線健康ハイキング開催
 - 6.29 企業広報誌「CiaO」創刊号発行
 - 7.8 ダイヤ改正を実施(No.48ダイヤ)
北総・公団線との相互直通運転廃止
鎌ヶ谷大仏駅折返しを廃止、松戸～京成津田沼(または新津田沼)駅間運転列車増発
新鎌ヶ谷駅開業
 - 12.10 八柱駅前駐車場営業開始
- 1993(平成5)年**
 - 3.25 レンタル納戸二宮営業開始
 - 3.31 松戸新田駅駅舎改築竣工
 - 4.1 自動定期券発売機使用開始(当社初)
 - 6.15 トラベルジョイ八柱営業開始
 - 9.26 8900形新造車両第1次車8両導入
- 1994(平成6)年**
 - 3.19 松戸駅に専用改札口設置
 - 3.30 レンタル納戸五香営業開始
 - 4.1 第2次中期経営計画スタート
 - 6.28 取締役会長に細川春雄就任
取締役社長に竹内直之就任
 - 9.1 新津田沼駅など8駅で終日禁煙(分煙)を実施
 - 10.16 電車基地見学・展示会開催(現・新京成サンクスフェスタinくぬぎ山)
 - 11.15 車輪フラット検出装置使用開始
 - 12.1 電力指令業務自動化運用開始
 - 12.16 バス回数券車内販売開始
- 1995(平成7)年**
 - 3.31 北習志野駅前広場完成
バスターミナル監視システム(松戸駅東口バス乗場)使用開始
 - 4.1 SKカード(ストアードフェアシステム)導入
 - 9.26 電車線重架線化完了
 - 11.1 トラベルジョイ北習志野営業開始(海外旅行取扱開始)
- 1996(平成8)年**
 - 2.15 鉄道全線終日禁煙・分煙化実施

- 2.29 8900形新造車両第2次車8両導入
- 3.28 バス運行情報システム導入(松戸営業所管内)
- 3.29 保守無線使用開始
- 4.1 ダイヤ改正(No.50ダイヤ)
最高速度を75km/hから85km/hに向上。日中は10分間隔の運転に
- 4.23 車両部「くぬぎ山車両管理所」竣工
- 4.27 東葉高速鉄道営業開始・連絡運輸開始
- 6.25 8900形新造車両第3次車8両導入
- 10.1 創立50周年記念式典開催

1997(平成9)年

- 2.25 「新京成電鉄社友会」設立
- 4.1 第3次中期経営計画スタート
- 5.15 新京成電鉄株式会社「50年史」発刊
- 7.24 低床式ワンステップバス導入

1998(平成10)年

- 4.1 くぬぎ山車両基地留置線増設(8両1編成分)
- 4.1 パンタグラフ摩耗チェック新システム導入
- 9.1 新京成プラチナバス(高齢者支援バス定期券)販売開始
- 10.12 ノンステップバス運行開始
- 11.14 環境(エコ)定期券新設
- 11.20 鎌ヶ谷大仏駅が「関東の駅百選」に選定
- 11.21 戸建分譲の販売開始

1999(平成11)年

- 1.20 バス運行50年記念行事実施
- 3.1 「バス共通カード」取り扱い開始(松戸営業所管内)
- 3.29 エスケーサービスク設立
- 3.31 大型踏切警報機新設(元山3号踏切、三咲1号踏切)
- 8.2 新京成電鉄オフィシャルサイト開設
- 10.18 豊富自動車整備工場を新京成車輛工業(株)に移管
- 11.25 東武鉄道新鎌ヶ谷駅開業に伴い連絡運輸開始
- 12.15 常盤平6丁目建物竣工

2000(平成12)年

- 4.1 バス一般貸切事業へ参入
第4次経営計画スタート
- 5.25 五香駅西口第2ビル竣工
- 6.3 高圧配電線2回線化(松戸～五香S/S間)
- 6.28 取締役会長に竹内直之就任
取締役社長に梅崎利秋就任

- 7.19 エスピー産業(株)設立
- 7.28 葉園台駅ビル竣工
- 7.29 葉園台駅移転開業
- 8.1 下総興業(株)が新京成タクシー(株)を吸収合併
- 9.16 習志野営業所を鎌ヶ谷営業所に統合
- 9.30 八千代高津ビル竣工
- 10.14 鉄道共通カードシステム「パスネット」導入
- 10.30 (有)アドバンス産業、(有)新京成エステート、(有)フロンティア企画設立

2001(平成13)年

- 2.26 (有)新京成エステートを新京成エステート(株)に変更
- 3.10 松戸駅の出札所を拡張移転
- 3.29 高圧配電線2回線化(五香S/S～元山12号柱間)
- 3.30 大型踏切警報機新設(五香3号踏切)
- 6.1 連立工事部新設
- 10.31 元山駅ビル竣工
- 12.15 滝不動駅前ビル竣工
- 12.25 フェアスルー(乗降確認)システム導入
五香駅ホーム内エスカレーター使用開始

2002(平成14)年

- 2.28 一般認定鉄道事業者(鉄道電気施設、車両)に認定
- 3.1 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定
- 3.26 高圧配電線2回線化(元山12号柱～北初16号柱間)
- 3.28 光ネットワーク運用開始
- 3.29 大型踏切警報機新設(前原3号踏切)
継電連動装置更新(松戸)
- 4.1 不動産仲介営業開始(北習志野営業所開設)
- 7.26 車両部門ISO 9001:2000認証取得(登録日)
- 8.21 鎌ヶ谷市内連続立体交差事業着工
- 9.26 松戸駅にのりこし精算機を設置(当社初)
- 9.27 列車無線設備更新
- 9.30 トラベルジョイ(旅行業)営業廃止(八柱営業所は同年6月28日廃止)
- 11.1 忘れ物検索システム導入
- 11.25 電車用主電動機のセンサレス制御実用化と導入開始
- 12.10 非常通報装置導入開始(八柱・常盤平・五香・高根公園の各駅)

2003(平成15)年

- 3.11 大型踏切警報機新設(前原6号踏切)
- 3.13 高根変電所新設
- 3.20 (有)フロンティア企画をフロンティア企画(株)に変更
- 4.20 「新京成鉄道模型館」営業開始(運営:フロンティア企画(株))
- 4.28 船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)、松戸新京成バス(株)設立
- 5.1 駅構内終日禁煙実施
- 9.30 新津田沼駅北口開設
- 10.1 バス事業分社化
船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)、松戸新京成バス(株)による営業開始
- 10.31 八柱駅第2ビル竣工
- 12.15 二和向台駅下りホーム内エレベーター使用開始
元山駅ホーム内エレベーター使用開始

2004(平成16)年

- 2.21 初富～北初富駅間の仮線切替工事実施
- 3.15 五香駅東口エレベーター使用開始
- 3.31 列車運行管理システム更新
- 4.14 五香駅西口第3ビル竣工
- 9.1 「ドッグラン松戸」営業開始(運営:フロンティア企画(株))
- 9.14 五香変電所インバータ設備新設
- 12.10 習志野駅ホーム内、常盤平駅ホーム内外エレベーター使用開始

2005(平成17)年

- 2.1 全駅(新鎌ヶ谷駅、京成津田沼駅を除く22駅)に新型マルチ券売機導入
- 4.20 フロンティア企画(株)を新京成フロンティア企画(株)に変更
- 5.29 N800形新造車両第1次車6両導入
- 6.30 主要駅で入金機を導入。収入金は入金機で回収するようになる
- 8.8 「サービス介助士」資格取得係員を全駅(新鎌ヶ谷駅、京成津田沼駅を除く22駅)に配置
- 9.30 鉄道用電話交換機更新(本社)
- 12.28 大型踏切警報機新設(葉園台1号踏切)

2006(平成18)年

- 2.6 上本郷駅ホームエレベーター、北口エレベーター使用開始
- 3.1 下総興業(株)をスタシオン・セルビス(株)に変更

- 3.24 「運転曲線作成システム」導入
- 3.31 光通信(ICカード)新設
- 6.28 取締役会長に梅崎利秋就任
取締役社長に片岡遼一就任
- 10.1 駅係員、乗務員の制服をデザイン一新
- 10.17 創立60周年記念冊子「鉄道ものしりBOOK」を作成
- 10.31 拠点用防災無線設備新設
- 12.2 京成津田沼駅5・6番線ホームエレベーター使用開始
- 12.10 ダイヤ改正(No.52ダイヤ)
京成電鉄千葉線へ乗り入れ開始(松戸～千葉中央駅間直通運転)
- 12.26 AED使用開始(松戸駅)
- 12.27 AED使用開始(新津田沼駅)

2007(平成19)年

- 3.17 高根公園駅ホーム内外エレベーター使用開始
- 3.18 ICカード「PASMO」を鉄道で導入、Suicaとの相互利用開始
定期券発売窓口(4駅)でクレジットカード「京成カード」の取り扱いを開始
- 3.22 「乗務員教育ソフト」導入
- 3.29 前原駅東口開設
継電連動装置更新(新津田沼)
- 3.30 高圧配電線2回線化(前原S/S～京成津田沼間)
- 3.31 鉄道用電話交換機更新(高根木戸)・増設(五香)
- 7.1 普通手回り品・定期手回り品の制度を廃止
- 10.1 新京成電鉄(株)が船橋バス(株)を吸収合併
- 11.1 「早期地震警報システム」導入
- 12.1 松戸新田駅南口開設
松戸新田駅、前原駅の遠隔監視開始
- 12.2 ダイヤ修正を実施(No.52-2ダイヤ)

2008(平成20)年

- 1.10 パスネット(SKカード)販売終了
- 1.23 新津田沼駅ホーム内エレベーター使用開始
- 2.27 マルチ券売機で京成カード使用開始(定期券のみ)
- 3.3 8000形VVVF第1次車運転開始
- 3.14 パスネットの改札機での使用終了
- 3.15 連絡定期券の発売範囲拡大
駅構内の一部飲料自販機でPASMO・Suicaの利用開始

- 3.21 くぬぎ山駅エレベーター使用開始
- 3.26 「気象情報監視システム」導入
- 3.28 AED使用開始(八柱駅・五香駅)
継電連動装置更新(くぬぎ山)
- 9.27 船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)路線バス全線でICカード「PASMO」導入
- 10.17 AED使用開始(高根公園駅)
- 10.25 松戸新京成バス(株)路線バス全線でICカード「PASMO」導入

2009(平成21)年

- 1.27 北習志野駅前ビル竣工
- 2.12 8000形VVVF第2次車運転開始
- 2.14 ダイヤ改正を実施(No.53ダイヤ)
土・休日の京成千葉線直通列車増発
- 3.13 前原変電所更新
- 3.19 上本郷駅・松戸新田駅・習志野駅・前原駅で自動精算機使用開始
- 3.27 「ダイヤ作成システム」導入
- 3.29 北習志野駅新駅舎供用開始(バリアフリー化・エレベーター使用開始)
AED使用開始(北習志野駅)
- 3.30 高圧配電線2回線化(二和S/S～大仏24号柱間)
- 10.1 オフィシャルサイトリニューアル
- 11.30 「行路表作成支援システム」導入
- 12.22 年末年始初の企画乗車券「ゆくうしくるとらフリーパス」を発売
- 12.29 高圧配電線2回線化(高根S/S～二和S/S間)

2010(平成22)年

- 2.3 8000形VVVF第3次車運転開始
- 2.22 ぞろ目を記念して「2ならび記念二和向台駅入場券」を発売
- 3.3 鎌ヶ谷大仏駅エレベーター使用開始
- 3.10 期間中任意の3日乗り放題の企画乗車券「乗りトク! さくら満開おでかけきっぷ」発売(以後、大型連休・夏休みなどに「乗りトク! きっぷ」を発売)
- 3.25 AED使用開始(鎌ヶ谷大仏駅)
- 3.26 高圧配電線2回線化(前原S/S～高根S/S間)
- 3.31 非常通報装置全24駅導入完了
保守無線基地局更新(新鎌ヶ谷)・増設(新津田沼、上本郷)
- 4.1 長期経営計画スタート
- 4.1 習志野駅の遠隔監視開始
- 7.16 800形電車の退役

- 7.17 ダイヤ修正を実施(No.53-2ダイヤ)
京成電鉄成田スカイアクセス線開業に伴うダイヤ修正
- 7.31 「バス共通カード」サービス終了(船橋新京成バス(株)・習志野新京成バス(株)・松戸新京成バス(株))
- 8.27 8000形VVVF第4次車運転開始
- 9.1 ウェザーニューズ社との提携により、気象情報サービス利用開始
- 10.29 AED使用開始(常盤平駅、薬園台駅)
- 11.29 8000形VVVF第5次車運転開始
- 12.15 三咲駅エレベーター、多機能トイレ使用開始

2011(平成23)年

- 1.28 N800形新造車両第2次車6両導入
- 2.4 滝不動駅・高根木戸駅エレベーター、多機能トイレ使用開始
- 3.31 みのり台駅スロープ、多機能トイレ、南口改札口使用開始
- 6.16 みのり台駅・滝不動駅の遠隔監視開始
- 11.25 AED使用開始(元山駅)

2012(平成24)年

- 1.18 8000形第1次車「しんちゃん電車」の退役(3月3日に「ありがとうしんちゃん電車フェスタ」開催)
- 1.30 八柱駅ホーム内エレベーター使用開始
二和向台駅上りホーム内エレベーター使用開始
- 2.25 新バスロケーションシステム(Bus-Vision)サービス開始(船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)、松戸新京成バス(株))
- 3.22 上本郷変電所更新
- 4.2 ダイヤ修正を実施(No.53-3ダイヤ)
陸上自衛隊松戸駐屯地桜並木(元山～くぬぎ山駅間)ライトアップ実施(以後、毎年実施)
- 4.8 「新京成鉄道模型館」営業終了
- 6.16 高根木戸駅の遠隔監視開始
- 6.27 取締役会長に片岡遼一就任
取締役社長に笠井孝悦就任
- 7.1 新津田沼駅ICカード専用改札機導入(以後、各駅に順次導入)
- 7.8 新鎌ヶ谷駅開業20周年記念券発売
- 7.17 北習志野駅ビル・エキタきたなら竣工
- 8.1 新津田沼駅・北習志野駅でデジタルサイネージ稼働

- 9.27 元山駅東口エレベーター使用開始
- 10.1 N800形新造車両第3次車6両導入
- 10.3 千葉ジェッツのラッピング電車「千葉ジェッツストリームトレイン」運行
- 10.21 ダイヤ改正(No.54ダイヤ)
- 11.28 北習志野駅に電車型自動販売機コーナー設置
- 12.27 開業65周年記念「新京成ファミリー・フェスティバル」開催

2013(平成25)年

- 2.2 初富駅付近松戸方面線路(仮上り線)の切替工事実施
- 2.3 初富駅仮上り線ホームエレベーター使用開始
- 2.8 全営業列車がVVVFインバータ制御電車化
VVVF制御電車100%達成記念乗車券発売
- 3.1 船橋新京成バス(株)深夜バス増便・船橋駅行き早朝便運行開始
- 3.28 千葉ロッテマリーンズのラッピング電車「伊東マリーンズ号」運行(以後、毎年ラッピング電車を運行)
- 3.29 五香駅ホーム内エレベーター使用開始
- 4.1 新鎌ヶ谷駅に当社の定期券発売機設置
- 4.16 船橋新京成バス(株)深夜急行バス運行開始
- 8.1 上本郷駅、三咲駅の遠隔監視開始
- 9.19 船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)、松戸新京成バス(株)、貸切バス事業者安全性評価認定制度の認定事業者となる
- 10.19 (株)セブン-イレブン・ジャパンと業務提携契約を締結(当社、スタシオン・セルビス(株))
- 12.5 「セブン-イレブン」新京成S T新津田沼店(スタシオン・セルビス(株)フランチャイズ第1号店)オープン

2014(平成26)年

- 2.22 北初富駅付近、松戸方面および津田沼方面(仮上下線)の切替工事実施
- 2.23 ダイヤ修正を実施(No.54-2ダイヤ)
北初富仮駅使用開始
- 3.25 運行情報ディスプレイ運用開始
- 4.16 船橋新京成バス(株)が習志野新京成バス(株)を吸収合併

- 5.17 初富駅付近津田沼方面線路(仮下り線)の切替工事実施(全線仮線運行)
- 6.1 シンボルマーク、コーポレートカラーおよびブランドスローガンを制定、使用開始
- 8.22 新コーポレートカラーを基調とする塗色に変更した8816編成、8918編成を報道関係者に公開
- 9.30 全ダイヤ6両編成運転開始
- 10.4 初富駅仮駅移設工事実施、初富仮駅使用開始
- 11.8 ダイヤ改正(No.55ダイヤ)
平日朝ラッシュ時新津田沼～京成津田沼駅間1往復増発
- 11.21 松戸駅エレベーター使用開始
- 12.6 デジタルATS使用開始(京成津田沼～前原駅間)

2015(平成27)年

- 1.28 薬園台駅前ビル竣工
- 2.16 船橋新京成バス(株)船橋行田線運行開始(京成バス(株)と共同運行)2019.9.30廃止
- 2.27 前原変電所～高根変電所間高圧配電線ケーブル化
- 3.16 松戸新京成バス(株)小金原線に新松戸駅発着系統新設
- 4.21 全線開通60周年(記念乗車券、記念nanaco発売)
- 12.5 ダイヤ改正(No.56ダイヤ)
平日朝ラッシュ時くぬぎ山～新津田沼駅間1往復増発
- 12.19 デジタルATS使用開始(松戸駅・くぬぎ山駅)
- 12.22 N800形新造車両第4次車6両導入
- 12.24 オフィシャルサイトリニューアル

2016(平成28)年

- 2.26 三咲駅前店舗竣工
- 2.29 8800形車両VVVF更新(フルSiC適用)第1次車運転開始
- 3.11 京成津田沼駅駅舎耐震補強工事を実施
- 3.31 高圧配電線ケーブル化全線完了
- 6.24 電力管理システム更新
- 6.28 代表取締役会長に笠井孝悦就任
代表取締役社長に眞下幸人就任
- 12.16 船橋新京成バス(株)深夜急行バス西船橋駅乗り入れ開始

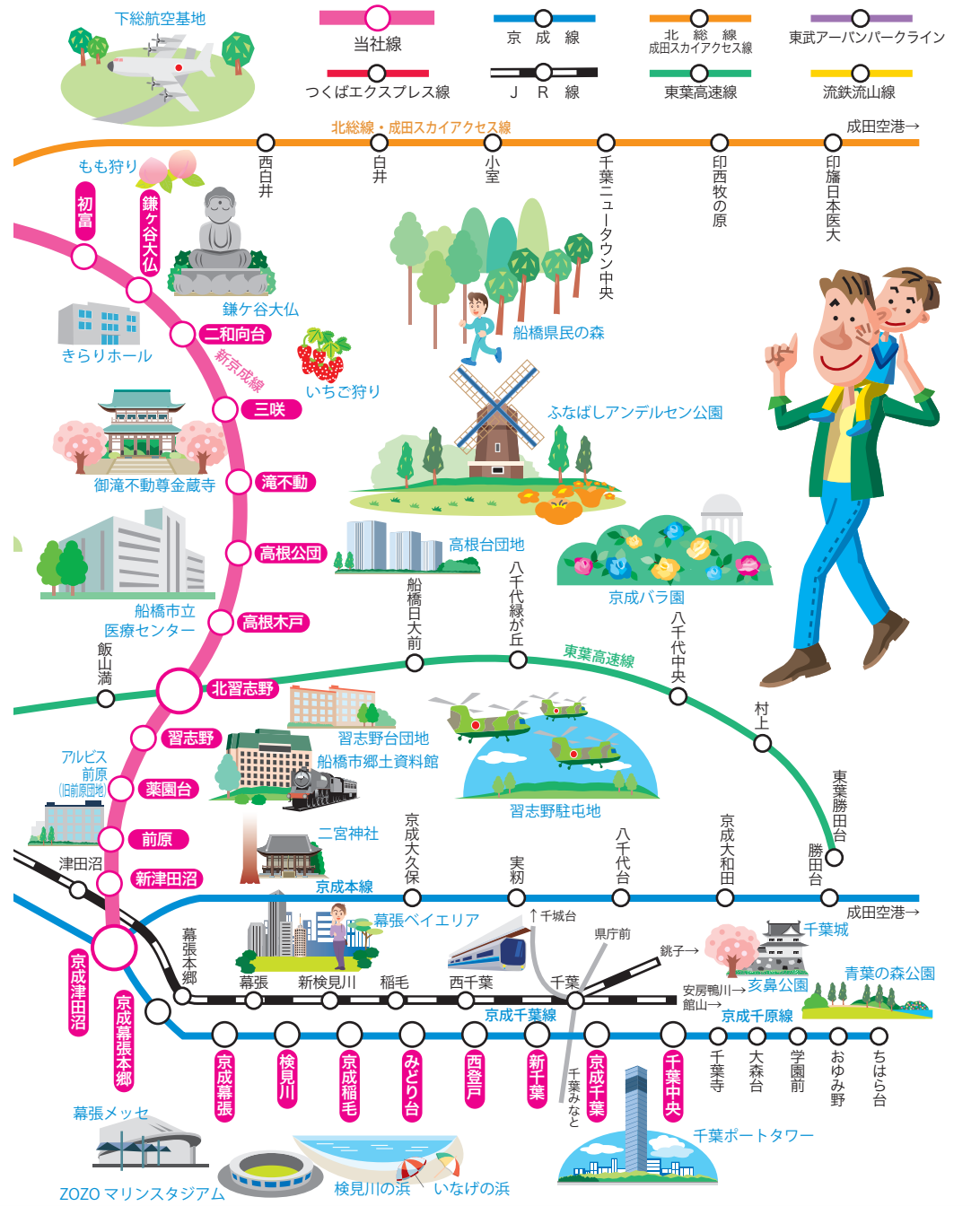
2017(平成29)年

- 1.10 西志津建物建替竣工(旧佐倉西志津建物)

- 2.8 八柱駅駅舎耐震補強工事を実施
- 2.15 松戸新京成バス(株)バス停ナンバリング導入
- 2.24 8800形車両VVVF更新(フルSiC適用)第2次車運転開始(同年第2次車から内装リニューアルを併せて実施)
- 3.18 デジタルATS使用開始(八柱～松戸駅間)
- 3.30 スタシオン・セルビス(株)「オープン型宅配便ロッカー(PUDOステーション)」サービス開始(元山駅)
- 5.16 エスピー産業(株)月極駐車場の空き区画を利用した「駐車場シェアリング」開始
 - 7.1 ふなっしーのラッピング電車「ふなっしーシートレイン」運行
ふなっしーとの各種コラボレーション企画を展開
- 8.30 八柱駅北口エレベーター使用開始
- 8.30 新京成電鉄公式YouTubeチャンネルの開設
- 9.4 船橋新京成バス(株)旧ボディカラー車両「赤バス」営業運転終了 ※松戸車両もすでに終了
- 9.30 車輪転削盤更新工事を実施
- 10.1 昭和第三ビル取得
単元株式数を1,000株から100株に変更
株式を5株につき1株の割合で併合
- 10.21 鎌ヶ谷大仏～くぬぎ山駅間下り線高架化
デジタルATS使用開始(初富～くぬぎ山駅間下り線)
- 12.16 松戸新京成バス(株)松戸市立総合医療センターの開院に伴う松高線延伸(院内乗り入れ)
- 12.18 新京成電鉄公式Twitterの開設
- 12.26 70周年記念コンサート「ドリームこどもフェス」開催
- 2018(平成30)年**
 - 3.3 新京成カップ(少年サッカー大会)を初開催
 - 3.5 三矢小台建物建替竣工(旧三矢小台ビル)
 - 3.7 「新京成お笑い寄席」を初開催
 - 3.10 デジタルATS使用開始(くぬぎ山～八柱駅間)
 - 3.31 車両基地連動装置導入
 - 4.27 船橋新京成バス(株)バス停ナンバリング導入
- 4.28 企画乗車券「新京成線発成田開運きっぷ」発売
- 5.10 スタシオン・セルビス(株)を新京成リテーリングネット(株)に変更
 - 7.1 「新京成音楽フェスティバル」を初開催
- 7.31 五香駅駅舎耐震補強工事を実施
- 8.10 N800形新造車両第5次車6両導入
- 9.1 松戸新京成バス(株)新松戸駅～松戸駅～羽田空港間の高速乗合バス運行開始(京成バス(株)、京浜急行バス(株)との共同運行)
- 10.1 松戸駅北口(乗換専用改札口)がIC専用改札に移行
- 10.20 電車つり革を再利用した「パスケース」「かばん」の発売に協力
- 11.5 お子さま向けWebサイト「しんけいせいキッズ」を開設
- 11.19 「ドラゴンボール超ブロリー電車」運行
- 12.9 松戸新京成バス(株)会社創立15周年特別塗装車両2両を運行
- 2019(平成31・令和元)年**
 - 2.25 習志野4丁目建物竣工
 - 3.9 デジタルATS使用開始(前原～習志野駅間)
 - 3.22 新津田沼駅駅舎耐震補強工事を実施
 - 3.29 スマートフォン用アプリ「新京成線アプリ」配信開始
 - 4.29 「改元記念きっぷ」発売
 - 5.20 「京成アプリ」と「新京成線アプリ」の列車走行位置連携を開始
 - 6.16 新鎌ヶ谷駅高架駅舎開業
 - 8.27 常盤平駅駅舎耐震補強工事を実施
 - 12.1 ダイア改正(No.58ダイヤ)
鎌ヶ谷大仏～くぬぎ山駅間上り線高架化(全線高架化)
北初富駅、初富駅の遠隔監視開始
デジタルATS使用開始(初富～くぬぎ山駅間上り線)
 - 12.20 「アナと雪の女王2」のラッピング電車運行
 - 12.27 80000形新造車両第1次車6両導入
- 2020(令和2)年**
 - 2.16 松戸新京成バス(株)松戸駅～「東京ディズニーリゾート®」間の高速バス運行開始(京成バス(株)と共同運行)2022.9.30廃止
 - 3.17 松戸駅駅舎耐震補強工事を実施
- 3.24 アクシスビル取得
- 3.25 前原駅多機能トイレ供用開始
- 3.28 デジタルATS使用開始(鎌ヶ谷大仏～初富駅間)
- 5.27 新京成電鉄オリジナルグッズの通信販売開始(オフィシャルサイト)
- 7.16 一日乗車券「夏のわくわく一日乗車券」を夏季限定発売
 - 8.1 船橋新京成バス(株)新津田沼から飯山満へ休憩所移転および飯山満二丁目～津田沼駅系統新設
- 9.16 ラッピング電車「新京成ドリームトレイン」運行
- 12.16 松戸新京成バス(株)新松戸線南流山駅乗り入れ開始
- 12.25 みのり台駅北口駅舎耐震補強工事を実施
- 2021(令和3)年**
 - 2.27 高圧配電線二回線化完了
 - 3.3 「令和三年三月三日記念乗車券」発売
 - 3.15 船橋新京成バス(株)で金額式IC定期券の発売・利用開始
 - 4.4 船橋新京成バス(株)松戸新京成バス(株)バス利用特典サービスポイント付与終了
 - 4.21 鉄道むすめ「五香たかね」デビュー
 - 5.22 デジタル列車無線使用開始
 - 6.30 吉橋85街区建物竣工
 - 8.16 船橋新京成バス(株)松戸新京成バス(株)「ミライID」取り扱い開始
 - 11.1 8000形電車の退役
ありがとう8000形引退記念イベントを展開
 - 11.2 80000形新造車両第2次車6両導入
- 12.24 五香駅東口駅前建物竣工
- 2022(令和4)年**
 - 1.8 松戸新京成バス(株)「路線バスで巡るデジタルスタンプラリー」開催(～2.6)
 - 1.15 松戸新田駅北口仮駅舎使用開始
 - 2.22 「2022年2月22日猫の日記念 たか猫うだん乗車券・入場券」発売
 - 3.19 船橋新京成バス(株)小室線「アンデルセンライナー」、豊富線「高根ライナー」の運行開始
船橋新京成バス(株)船橋駅北口バス乗場を方面・経由別に発着番線を見直し船橋新京成バス(株)「建鉄循環線」の路線名を「山手ループ線」に変更
- 3.23 沿線PRサイトのリニューアル
新京成電鉄公式Instagramの開設
- 4.4 東京証券取引所スタンダード市場へ移行
ふなっしーのラッピング電車「ふなっしーシートレイン」運行
- 4.21 ふなっしーとの各種コラボレーション企画を展開
 - 7.7 新京成グループデザインバス導入
- 8.30 東京証券取引所スタンダード市場における上場廃止
- 8.31 普通回数乗車券の発売を終了
 - 9.1 京成電鉄株式会社の完全子会社化
 - 9.30 高根公園第2ビル建替竣工
- 10.18 「鉄道の日記念乗車券 新京成電鉄開業75周年」を発売
 - 11.2 80000形新造車両第3次車6両導入
- 12.10 デジタルATS使用開始(北習志野～高根木戸間)
- 2023(令和5)年**
 - 3.18 京成津田沼駅と北習志野駅の相互利用区間における特定運賃を廃止
松戸新京成バス(株)金額式IC定期券の発売・利用開始
船橋新京成バス(株)、松戸新京成バス(株)特殊IC定期券の発売・利用開始
 - 3.22 新京成線アプリをリニューアル
 - 4.1 京成不動産(株)がエスケイサービス(株)、エスピー産業(株)、新京成エステート(株)、京成フロンティア企画(株)が新京成フロンティア企画(株)を吸収合併
 - 5.5 「令和五年五月五日ゾロ目記念乗車券」発売
 - 5.11 明治レジデンス取得
 - 5.17 新京成リテーリングネット(株)セブン・イレブン路面1号店となる浦安舞浜店開店
 - 7.1 船橋新京成バス(株)、松戸新京成バス(株)一般乗合バスの運賃を改定
 - 10.1 鉄道旅客運賃を改定

ACCESS MAP

新 京 成 沿 線 マ ッ プ



- 当社線 (Our Line)
- 京成線 (Keisei Line)
- 北総線 (北総線・成田スカイアクセス線) (Keiyo Line (Keiyo Line / Narita Sky Access Line))
- 東武アーバンパークライン (Toei Urban Park Line)
- つくばエクスプレス線 (Tsukuba Express Line)
- J R 線 (JR Line)
- 東葉高速線 (Toei Express Line)
- 流鉄流山線 (Ryutetsu Ryuzan Line)

